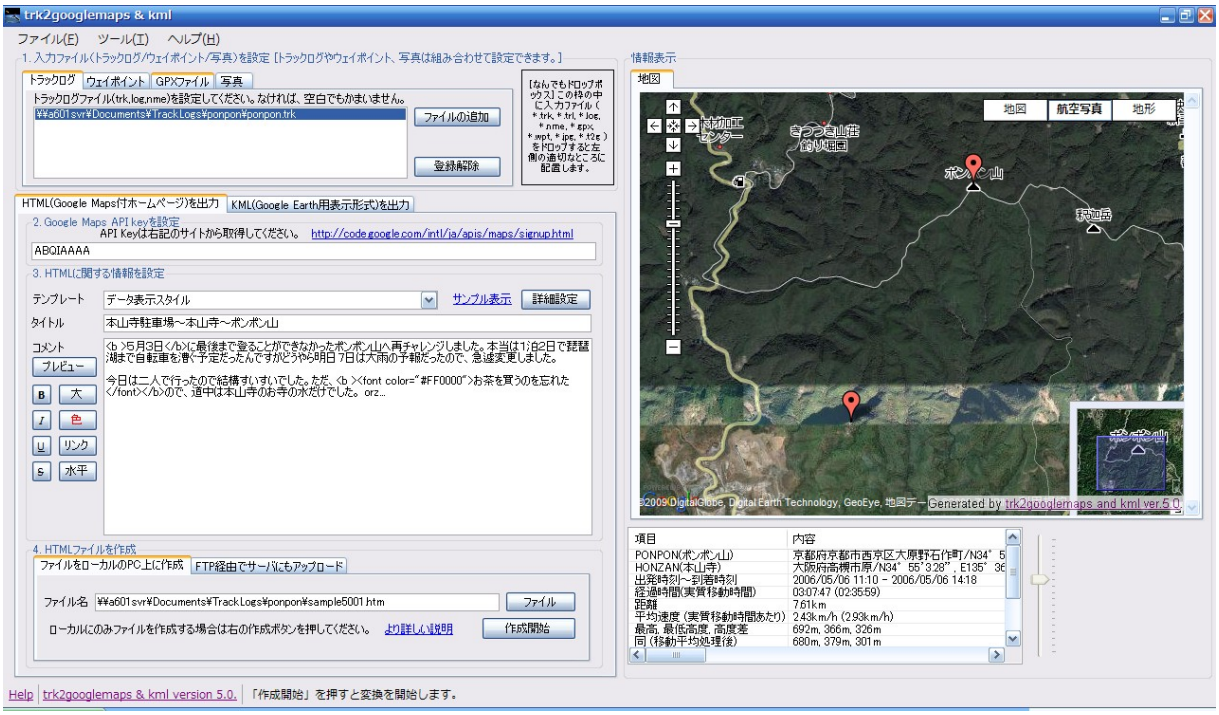
trk2googlemaps and kml Version 5

取扱説明書

http://etgps.net/gps/

Copyright 2009 ETOH, Hiroki, All rights reserved.



このたびは trk2googlemaps & kml をお使いいただきありがとうございます。取扱説明書をご覧の上、本ソフトウェアをお使いください。本ソフトウェアはフリーウェアですが、著作権は放棄していません。雑誌等へでのご紹介、転載等の際には et@etoh.minidns.net までご連絡をお願いします。尚、ホームページ等ネット上でご紹介いただく分には特に連絡は不要です。

それでは、お楽しみください。

目次

1 はじめに.....5
1.1trk2googlemaps & kml とは 5
1.2 対応入力フォーマット.....6
1.3 対応出力フォーマット.....7
1.4 動作環境.....7
2 インストール.....8
3 準備 9
3.1 カシミール編 9
3.1.1 カシミールの入手.....9
3.1.2 カシミールを起動.....9
3.1.3trk ファイルを書き出す.....10
3.1.4 wpt ファイルを書き出す.....14
3.1.5 写真に位置情報やコメントを追加する 14
3.2GPS-CS1K/KSP 編 14
3.3Au の GPS 携帯編.....14
3.3.1 トラックログ.....14
3.3.2 位置情報付き写真.....14
3.4DoCoMo の GPS 携帯編.....15
3.5MtkDLut 編.....15
3.6gpslogcv 編 15
3.7Holux M-241 編.....15
4 基本画面.....16
5 入力ファイルの設定.....17
5.1 トラックログ(*.nme, *.log, *.trk, *.trl, *.csv, *.txt)ファイル.....17
5.2 ウェイポイント(*.wpt)ファイル 17
5.2.1 ウェイポイント編集画面.....18
5.3GPX(*.gpx)ファイル 19
5.4 写真・画像(*.jpg)ファイルの場合 20
5.4.1 写真の追加・コメントの編集ダイアログ.....20
6HTML(Google Map 付ホームページ)を出力.....27
6.1 出力形式の選択 27

6.2Google Maps API Key を設定....27
6.3HTML に関する情報を設定 27
6.3.1 テンプレート一覧....28
6.3.2 詳細設定....29
6.3.2.1 詳細設定 1 30
6.3.2.2 詳細設定 2 31
6.3.2.3 詳細設定 3 32
6.3.2.4 詳細設定 4 34
6.4 HTML ファイルを作成....34
6.4.1 ファイルをローカルの PC 上に作成 35
6.4.2FTP 経由でサーバにもアップロード 35
6.4.3HTML ファイル作成後の動作 36
7KML(Google Earth 用表示形式)を出力 37
7.1 線のスタイルを設定 37
7.2KML に関する情報の設定....37
7.3 出力ファイルを設定....38
7.3.1 各項目について....38
7.3.2 ファイル作成後....38
8Google Static Map API を用いた<img>タグ出力....39
8.1Google Maps API キーの設定....39
8.2 スタイルを設定....39
8.3 作成....39
9 メニュー 40
10 情報表示....42
11 その他 43
11.1 ステータスバー....43
11.2 制限....43
12 最後に....44
12.1 免責....44
12.2 履歴 44
12.3 ご紹介いただいた雑誌等(2009/2 現在)....50
12.4 最新の情報について 52

1　はじめに

本ツールをダウンロードいただきありがとうございます。
最新の状況については GPS への扉をご覧ください。

1.1　trk2googlemaps & kml とは

- カシミール 3D・GPS ログコンバータ gpslogcv・Sony GPS-CS1K・ [New]Holux M-241，au/docomo の GPS 携帯電話, MapSource から吐き出されたトラックログ(trk,trl,gpx,nme,nmea,log,csv,txt)やウェイポイント(wpt)、GPS 携帯などで撮影された写真、ハン ディ GPS でログ取りしながら撮影した写真を読み取り、自動でホームページを作成し、アップロード作業までを一貫して行うことができます。あるいは、KML,KMZ(Keyhole markup language)ファイルを生成し、Google Earth で表示することができます。
- ウェイポイント単独・写真単独・トラックログ単独あるいはそれらを組み合わせるなどいろいろなバリエーションでホームページが作れます。
- 写真とトラックログの時間マッチングをさせて位置情報を推定したり、Exif 写真の位置情報やコメントを自動で読み込んで、HTML アルバムに反映させることができます。
- 本アプリ上でウェイポイントや写真にコメントをいれることもできます。
- [New]Gpolyline.FromEncoded()を利用してトラックログの間引きが極力起こらない仕組みを用意しています。トラックログを間引く場合も従来より間引きのアルゴリズムを改善し、間引きの影響を極力少なくしています。
- [New]トラックログやウェイポイント、写真データは HTML や KML を生成しなくてもその場で、グラフや統計情報など各種情報を表示することができます。
- 時刻－高度・時刻－累積距離・時刻－速度などのグラフを自動で生成し、ホームページに反映させることができます。
- トラックログなどから得られる各種データを自動的に算出し、HTML や KMZ ファイル内に反映させることができます。
- 生成された HTML ファイルにはたくさんのコメントを挿入し、後から加工しやすくしています。
- 1～4 までのステップを埋めていくだけのかんたん操作です。
- 緯度経度→住所変換モジュール内蔵で写真の撮影場所やウェイポイント設定地点の住所を表示することができます。(日本国内のみ)

1.2 対応入力フォーマット

・Garmin track log 形式/PCX5 形式(*.trk)	カシミール 3D で出力されたトラックログ・gpslogcv で出力されたトラックログ (現時点で map source など純粋な Garmin のツール類で作成されるであろうトラックログについては未確認です。)
・[New]Holux M-241 出力ログ(*.trl)	Holux Utility を経由して Holux M-241 から出力されるトラックログ
・[New]au あしあとデータ(*.txt)	・au の GPS 携帯の地図ビューアアプリから出力されるトラックログ
・[New]docomo あしあとデータ(*.txt)	・docomo の GPS 携帯の地図アプリ から出力されるトラックログ。SD カードの SD_BIND フォルダに格納されています。 905 以降の機種。最新機種では動かないかも知れません。
・MtkDLut (MTK GPS Logger download Utility) 出力ログファイル(*.csv)	・MtkDLut(MTK GPS Logger download Utility) から出力される csv 形式のトラックログファイル。 MtkDLut は Transystem i-Blue747, i-Blue821, i-Blue747A+, Qstarz BT-Q1000, BT-Q1000X, BT-Q1300, HOLUX M-241 など MTK チップを使った GPS データロガーが出力する GPS データを取り込むことができます。
・NMEA-0183 準拠トラックログ(*.log; *.nme; [New] *.nmea)	・Sony GPS-CS1K で出力されたトラックログ(*.log) ・GPSLOGCV で出力されたトラックログ(*.nme) ・MTKDLUT(MTK GPS Logger download Utility)で出力されたファイル(*.nmea) など NMEA-0183 準拠フォーマットのファイル形式。
・Garmin waypoint log 形式/PCX5 形式(*.wpt)	カシミール 3D で出力されたトラックログ・GPSLOGCV で出力されたウェイポイントファイル
・GPS eXchange format 形式/GPX 形式(*.gpx)	MapSource など GPX に記録されたトラックログおよびウェイポイントファイル
・Exif 形式 JPEG ファイル(*.jpg)	デジカメなどで撮影された画像ファイル。 GPS-CS1K や au/docomo の GPS 携帯で撮影した写真など位置情報が付与されていれば、 読み込み時に付与された位置情報を利用します。位置情報が付与されていなければ トラックログと時間マッチングを行い撮影場所を推定します。

1.3 対応出力フォーマット

HTML ファイル Google Map API	Google maps API を利用し地図上に GPS のトラックログや、ウェイポイント、写真を貼り付けたホームページを作成することができます。
KML ファイル Keyhole Markup Language(XML ファイル)	Google Earth 上でトラックログや、ウェイポイントを表示するためのスクリプトファイルです。
KMZ ファイル Keyhole Markup Language (バイナリ圧縮)	上記スクリプトファイルをバイナリ圧縮したもので、内部に写真イメージなども含めて取り込むことができます。
<img>タグ Google Static Map API	BLOG などに静止画イメージとして貼り付けることが可能な<img>タグ形式で出力します。

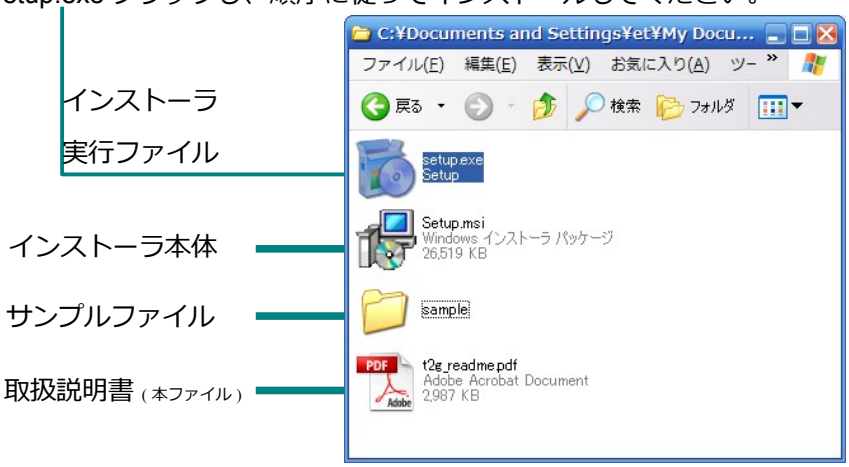
1.4 動作環境

- OS Windows 7Beta2[New]/ Vista / XP / 2000 SP4
    - Windows 2000 でお使いの際は Service Pack 4 を適用の上、Windows Update で最新の状態にする必要があります。Vista/XP においても Service Pack 適用した状態でのみ動作確認しています。
- 必要なモジュール .NET Framework 2.0

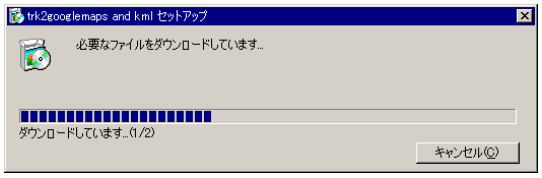
  インストール時にインストーラが.NET Framework をインストールします。
- インストール容量 120MB
    - .NET Framework をインストールする場合はさらに増えます。
- 画面解像度 最低 1024x600 以上、推奨 1280x768 以上

2 インストール

- trk2googlemaps_x_y_z.lzh を展開すると、
  setup.exe, setup.msi, t2g_readme.pdf(本ファイル), sample\sample.trk, sample\sample.wpt
  の 5 ファイルが表示されます。
- Setup.exe クリックし、順序に従ってインストールしてください。



- .NET Framework 2.0 が必要です。もし、インストールされていなければ、インストーラが Windows Update のサイトからインストールを行います。



-

3 準備

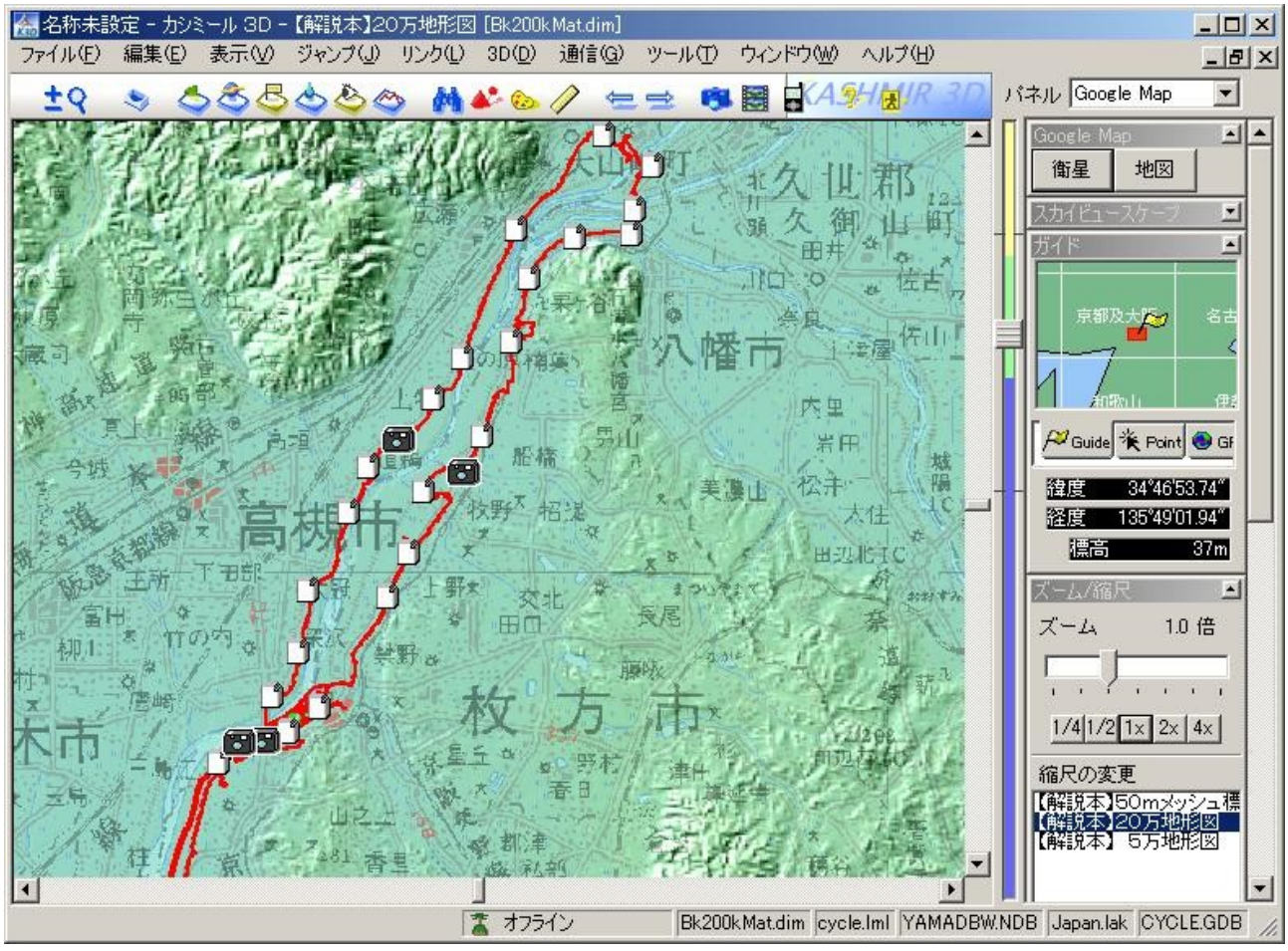
トラックログやウェイポイントファイルの準備の仕方を説明しています。詳しくはそれぞれのソフトウェアや機器の取扱説明書をご確認ください。

3.1 カシミール編

3.1.1 カシミールの入手

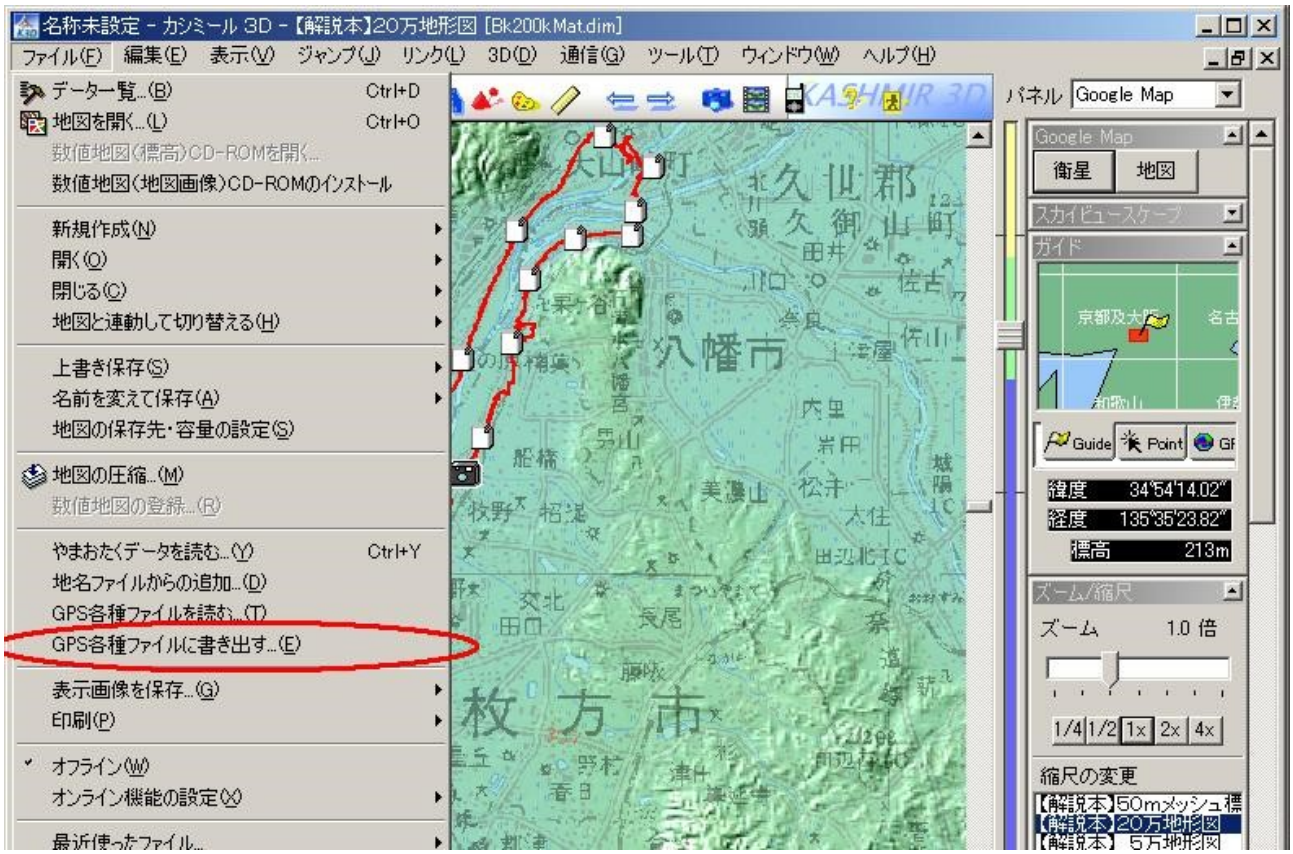
カシミール 3D をカシミールのサイトからダウンロードするか、カシミール 3DGPS 応用編 あたりを購入してインストールします。カシミール 3D 単体では地図がついていないので、地図の心配しなくていい面からは本のほうが楽ですね。

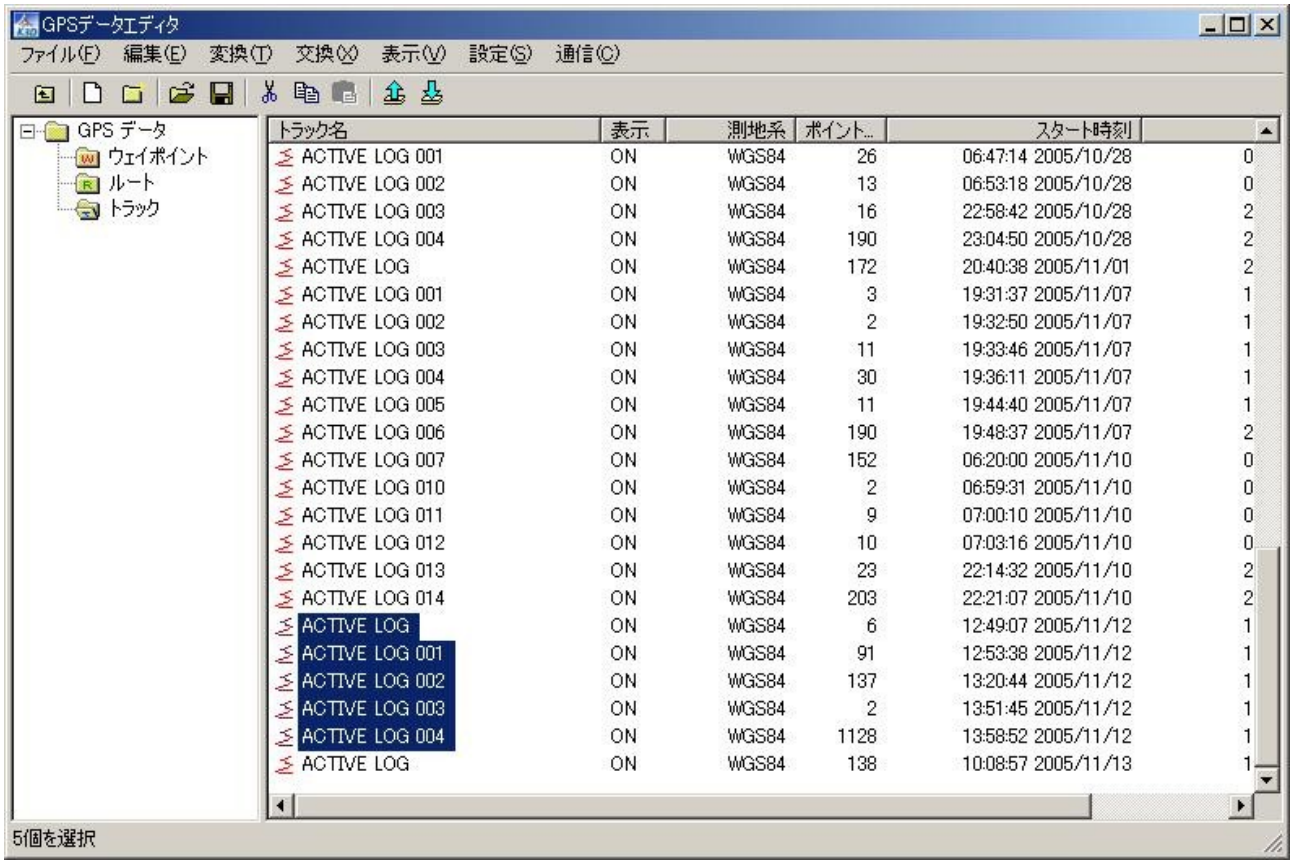
3.1.2 カシミールを起動



カシミールを起動します。ハンディ GPS 等からのトラックログの転送はこちらをご覧ください。

3.1.3 trk ファイルを書き出す





1. 「ファイル」－「GPS 各種ファイルへ書き出す」を選択し、出力したいトラックログを選択する。
2. 「ファイル」－「選択した GPS データの書き出し」を選択する。

3. ファイルダイアログの中で[.trk]形式ないしは[.gpx]形式を選択して.trk ないしは.gpx を作成。

3.1.4 wpt ファイルを書き出す

関連するウェイポイントがあれば、同様にウェイポイントをクリックし、出力したいウェイポイントを選択した上で、ファイルダイアログの中で[.wpt]形式を選択して、.wpt ファイルを作成する。カシミール 3D のマニュアルもご覧ください。

3.1.5 写真に位置情報やコメントを追加する

Exif JPEG の写真に位置情報や User Comment フィールドにコメントが入っていれば、Google Maps 中に写真を撮った位置を表示したり、そのコメントを表示させることもできます。ユーザコメントはカシミール 3D などを利用して入れることができます。カシミールで Exif JPEG に位置情報やユーザコメントを追加する方法は、http://www.kashmir3d.com/kash/manual/hyp_exif.htm に方法が書かれています。※コメントは本アプリ上でもあとで埋め込むことができます。

3.2 GPS-CS1K/KSP 編

PC と GPS-CS1K ・GPS-CS1KSP を USB ケーブルで接続すると MassStorage クラスで接続される(ドライブ番号が表示される)のでルートディレクトリの WG(年月日時分秒).log を PC の適当なディレクトリにコピーしてください。GPS Image Tracker で取り込み後は、

C:\Document and Settings\ユーザ名\Application Data\Sony Corporation\Sony Picture Utility\GPSUtil\Log

に記録されています。

3.3 Au の GPS 携帯編

3.3.1 トラックログ

1. EZ 地図ビューアー を入手します。
2. 「アプリ設定」→「あしあと設定」→「あしあとの保存」を選択
3. メールで「あしあとデータ」を添付し、PC に送る。 （他にも方法があると思いますが、ここでは説明しません。）

3.3.2 位置情報付き写真

多くの場合、写真を撮影後、保存前に（ないしは写真をとる前に）

1. 「サブメニュー」→「GPS 情報付加」を選ぶ
2. センターキー「選択」→GPS 情報を付加する

を行うと、位置情報が取得されます。
写真に位置情報が付与されると、位置情報が付与されているしるしとして、 のようなマークが携帯電話上での再生時に表示されます。
個々の機種で付与の仕方は微妙に異なると思いますので、詳しくは携帯電話の取り説をみてみてください。
ただ、単純に撮影しただけでは位置情報は付与されません。

3.4 DoCoMo の GPS 携帯編

1. 地図アプリを起動
2. [今いる場所]→[足跡を見る]
3. SD カードの「SD_BIND\SVCnnnn\hogehoge\」(nnnn は数字. hogehoge は適当な英数字列)に FPn.csv(n は数字)などのファイル名で作成されます 。

3.5 MtkDLut 編

MtkDLut は Transystem i-Blue747, i-Blue821, i-Blue747A+, Qstarz BT-Q1000, BT-Q1000X, BT-Q1300, HOLUX M-241 など MTK チップを使った GPS データロガーが出力する GPS データを取り込むことができます。http://homepage2.nifty.com/k8/gps/indexj.htm からダウンロードすることができます。

3.6 gpslogcv 編

gpslogcv を使ってさまざまな形式のトラックログファイルを trk ファイルに変換すれば、入力ファイルとして使用することができます。

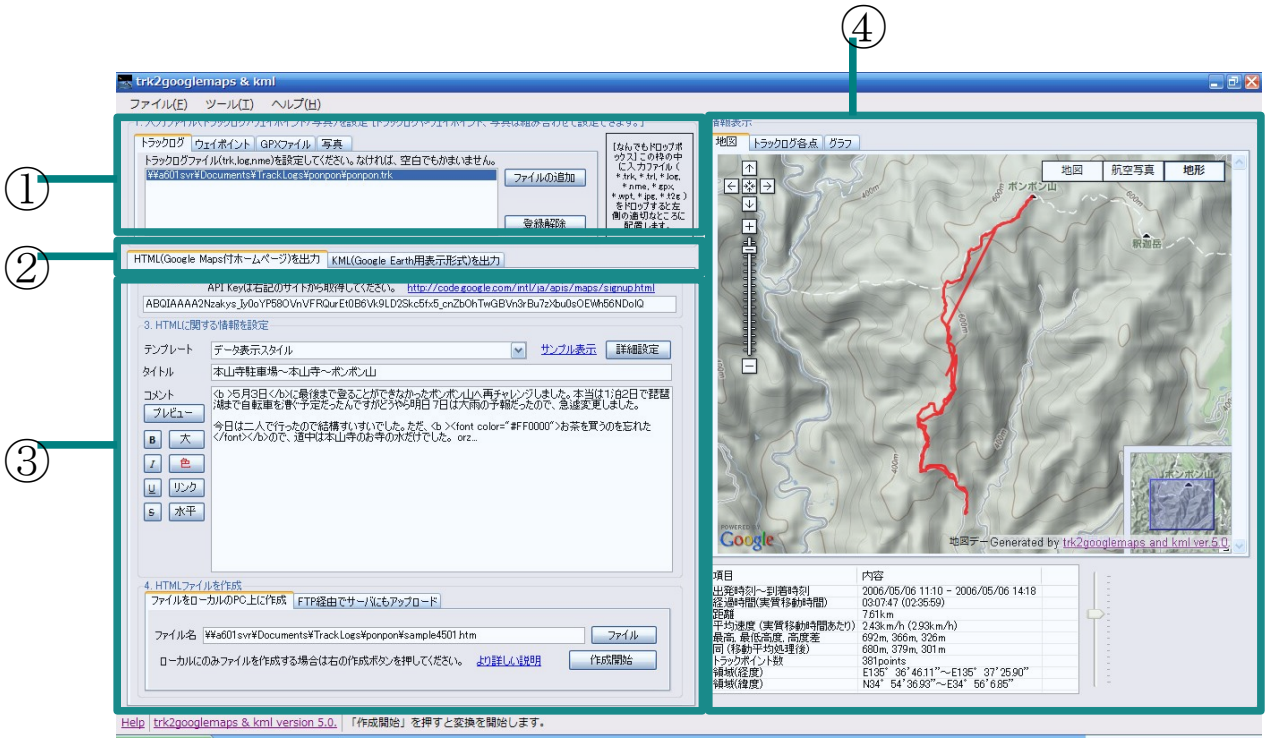
3.7 Holux M-241 編

Holux M-241 の出力するトラックログ形式を読み込むことができます。Holux Utility を使って、.trl ファイルを PC に保存してください。.trl ファイルはそのまま取り扱うことができます。

4　基本画面

スタートメニューの[プログラム]→[GPS への扉]→[trk2googlemaps & kml]を選択すると、アプリケーションが起動します。

アプリケーションを起動すると、下記のような画面が表示されます。



① … 入力ファイル設定領域 (この中で、HTML や KML にしたいトラックログやウェイポイント、写真を設定します。)

② … 出力形式設定タブ (HTML 出力か、KML 出力かを選択します。)

③ … 出力情報設定領域（コメントや　各種詳細情報を設定し、作成を開始します。）

④ … 情報表示領域(①～③の領域での操作に応じて、地図や写真、グラフなどを表示します。)

5　入力ファイルの設定

トラックログファイル・ウェイポイントファイル・写真のいずれか、ないしは組み合わせて入力ファイルを設定します。右側の四角にファイルをドロップすると適切に配置します。

5.1　トラックログ(*.nme, *.log, *.trk, *.trl, *.csv, *.txt)ファイル

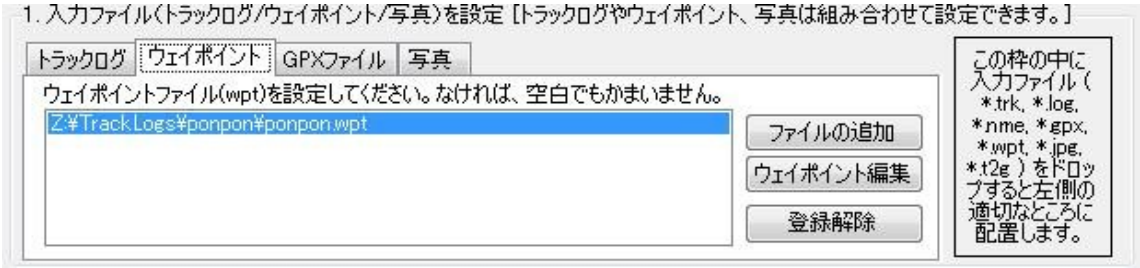
[ファイルの追加] … ファイルを追加するダイアログが出てきますので、3 章で準備した.nme, .log, .trk, .trl, .csv, .txt の拡張子を持ったファイルを選びます。ファイルは複数選択することができます。

[登録解除] … 間違ったファイルを設定した場合は、「登録解除」で入力ファイルから登録解除されます。

リストボックスの中のトラックログファイルをクリック … トラックファイルのサマリーはリストボックスの中のトラックログファイルをクリックすると、④情報表示領域に表示されます。

[なんでもドロップボックス] … 右側の「なんでもドロップボックス」に Explorer などからファイルをドロップしても入力ファイルとして登録することができます。

5.2　ウェイポイント(*.wpt)ファイル



[ファイルの追加] … 関連するウェイポイントがあれば、[ファイル]を選択し、3 章で準備した wpt ファイルを選びます。

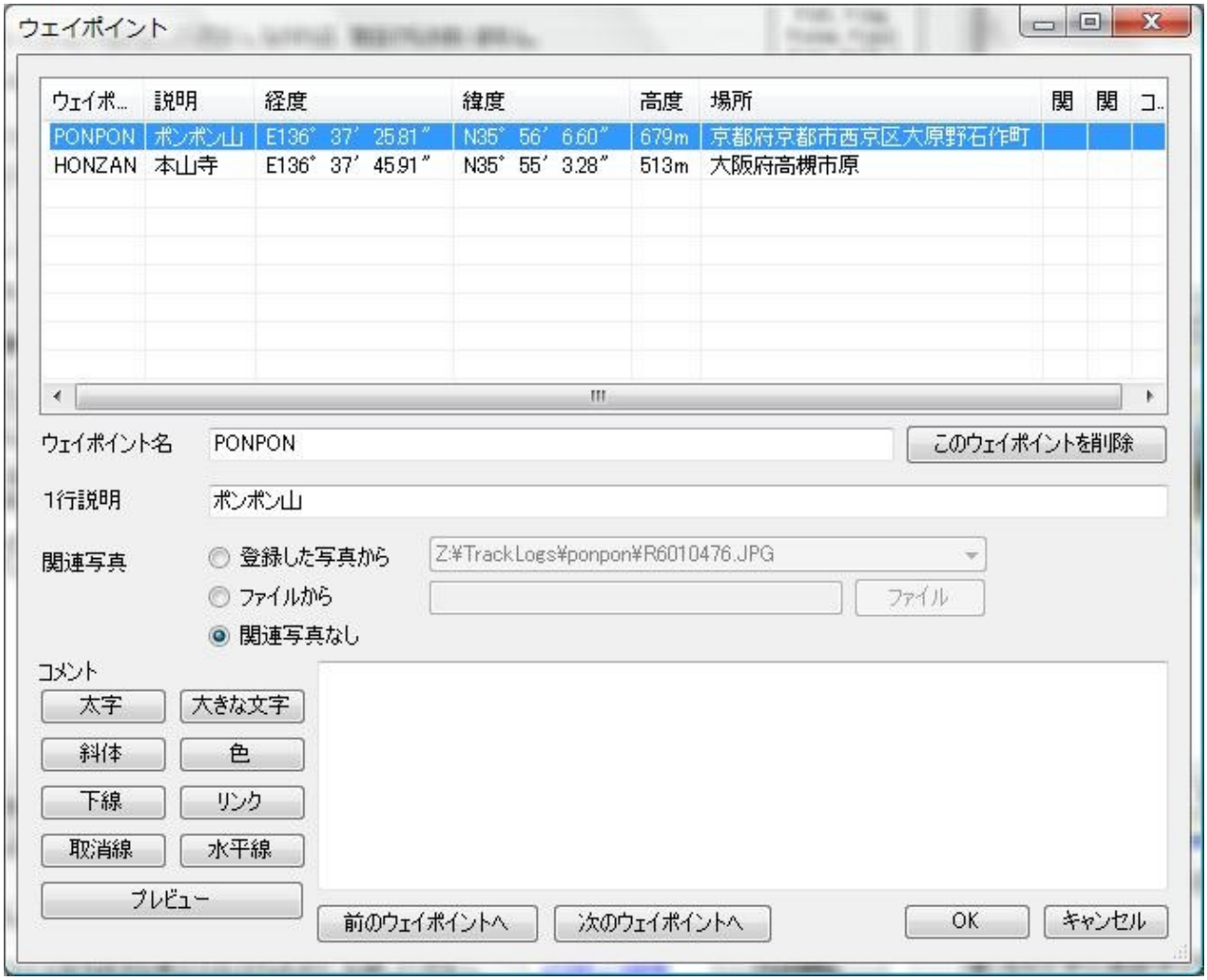
[登録解除] … 間違ったファイルを設定した場合は、「登録解除」で入力ファイルから登録解除されます。

[ウェイポイント編集] … 設定したウェイポイントに対して、写真を貼り付けたり、コメントを付与したりすることができます。[ウェイポイント編集]ボタンを押すと、以下のダイアログが表示されます。

リストボックスの中のウェイポイントログファイルをクリック … ウェイポイントファイルのサマリーはリストボックスの中のウェイポイントファイルをクリックすると、④情報表示領域に表示されます。

[なんでもドロップボックス] … 右側の「なんでもドロップボックス」に Explorer などからファイルをドロップしても入力ファイルとして登録することができます。

5.2.1 ウェイポイント編集画面



登録されているウェイポイントの一覧が画面上部にリスト表示されます。リスト表示されているうちのひとつを選択すると、下側にウェイポイントに関する情報が表示されます。

- ウェイポイント名

wpt ファイルに設定されているハンディ GPS 等で表示される 6 文字の英数字が表示されています。エディトボックスの中を変更すると、生成される HTML ファイルの中のウェイポイント名が変更されます。(wpt ファイル自身は変更されません。)

- **1 行説明**

wpt ファイルに設定されている"description"フィールドの内容を表示しています。エディトボックスの中を変

更すると、生成される HTML ファイルの中の 1 行説明が変更されます。(wpt ファイル自身は変更されません。)

- **関連写真**

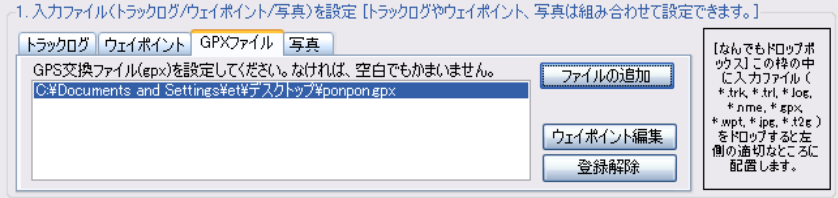
ウェイポイントファイルに関連する写真を 1 枚設定することができます。登録の仕方は 2 種類あり、フォルダから直接ファイルを指定する方法と、Step.3 の「写真の追加」で追加された写真の中から選ぶ方法があります。

- **コメント**

ウェイポイントに関するコメントを入れることができます。入力したコメントの一部を選択状態にして、左側の文字修飾ボタンを押すことで、さまざまな文字修飾をいれることができます。

- **[前のウェイポイントへ][次のウェイポイントへ]** … 選択されている前後のウェイポイントの情報を表示します。

5.3 GPX(*.gpx)ファイル



[ファイルの追加] … 2章で準備したトラックログやウェイポイントを含んだ GPX ファイルを選択し、gpx ファイルを設定します。

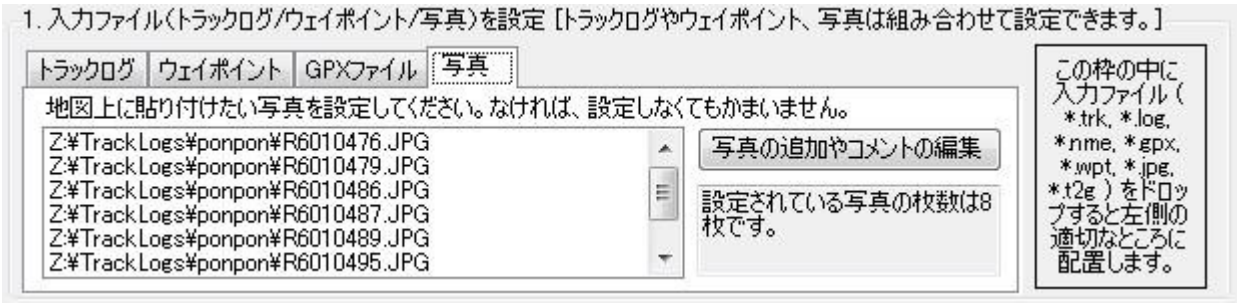
[ウェイポイント編集] … GPX ファイルにウェイポイント情報が含まれていれば、ウェイポイントに対して、写真を貼り付けたり、コメントを付与したりすることができます。設定ダイアログは 5.2.1 に記載のダイアログと同じです。

[登録解除] … 間違ったファイルを設定した場合は、「登録解除」で入力ファイルから登録解除されます。

リストボックスの中の GPX ファイルをクリック … GPX ファイルのサマリーはリストボックスの中の GPX ファイルをクリックすると、④情報表示領域に表示されます。

[なんでもドロップボックス] … 右側の「なんでもドロップボックス」に Explorer などからファイルをドロップしても入力ファイルとして登録することができます。

5.4 写真・画像(*.jpg)ファイルの場合

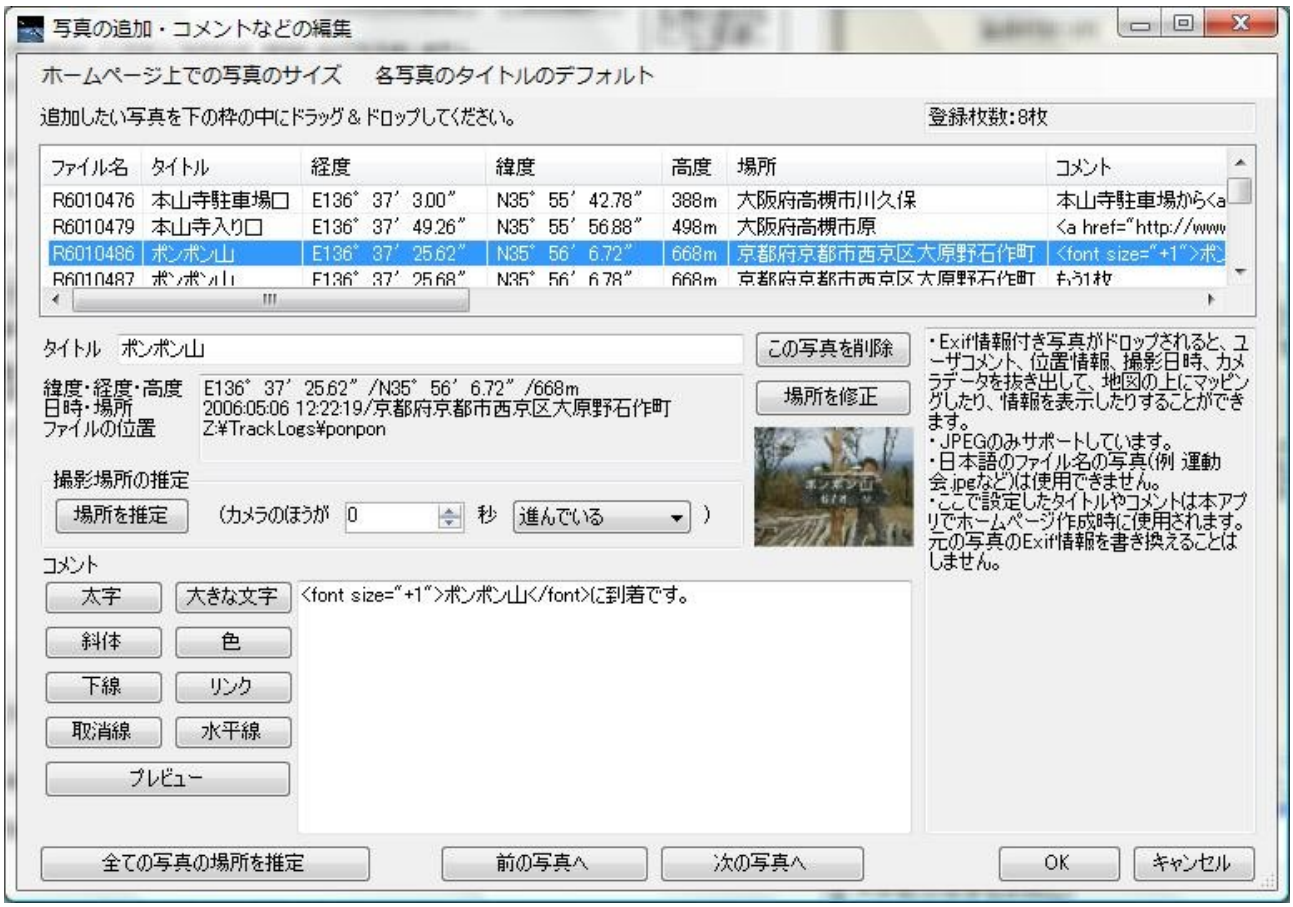


[写真の追加やコメントの編集] … 関連する写真があれば、[写真の追加やコメントの編集]ボタンを押して開いたダイアログの左上部のに写真をドロップして追加することができます。写真の追加やコメントの編集 ダイアログの詳細は 5.4.1 をご覧ください。登録の解除もそちらを利用ください。

リストボックスの中のトラックログファイルをクリック … GPX ファイルのサマリーはリストボックスの中の GPX ファイルをクリックすると、④情報表示領域に表示されます。

[なんでもドロップボックス] … 右側の「なんでもドロップボックス」に Explorer などからファイルをドロップしても入力ファイルとして登録することができます。

5.4.1 写真の追加・コメントの編集ダイアログ



リスト表示されているうちのひとつを選択すると、下側にその写真に関する情報が表示されます。

Exif JPEG の写真の User Comment フィールドにコメントが入っていれば、そのコメントやタイトルを予め表示します。

日本国内で撮影された場所であれば、緯度経度から住所に変換して住所を表示することができます。住所は街区レベル位置情報サービスを利用して代表点から抽出しているため、特に境界上では異なった地名を表示することがあります。おおよその目安として捕らえてください。

[この写真を削除] … この写真をリストの登録から削除します。実際のファイルが削除されるわけではありません。

[場所の修正] … トラックログから推定したり Exif に記載されている撮影位置がずれている場合、撮影位置を修正することができます。

[場所の推定] … 位置情報が付与されていない写真に対してトラックログに記録されている位置情報との時間マッチングを取り、撮影場所を推定します。カメラとＧＰＳとの時間差は（カメラのほうがボタン右側の「ｘｘ」秒「進んでいる or 遅れている」）を利用して修正することができます。(写真のファイル自身は変更されません。)

[タイトル] … 写真に設定されているタイトルの内容を表示しています。エディトボックスの中を変更すると、生成される HTML ファイルの中の１行説明が変更されます。(写真のファイル自身は変更されません。)

[コメント] … この欄で、写真に関するコメントを入れることができます。入力したコメントの一部を選択状態にして、左側の文字修飾ボタンを押すことで、さまざまな文字修飾をいれることができます。(写真のファイル自身は変更されません。)

[全ての写真の場所を推定] … 撮影場所がない写真に対して一括して場所の推定を行います。

[この写真を削除] … リストからの登録が削除されます。実際にファイルが削除されるわけではありません。

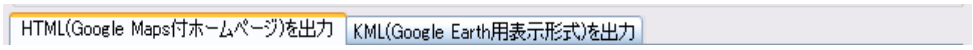
メニューの「写真のサイズ」 … 「拡大表示時」　写真を QVGA(320x240)～SXGA(1280x1024)の間でリサイズして出力することができます。

メニューの「サムネイル表示時」 … サムネイル表示のサイズを小サイズ(128x96)・大サイズ(256x192)の 2 種類から選択することができます。

メニューの「各写真のタイトルのデフォルト」 … 写真取り込み時に Exif のタイトルフィールドから情報を読んで表示するか、ファイル名を表示するかを選択することができます。タイトルはあとで修正することもできます。

6 HTML(Google Map 付ホームページ)を出力

6.1 出力形式の選択



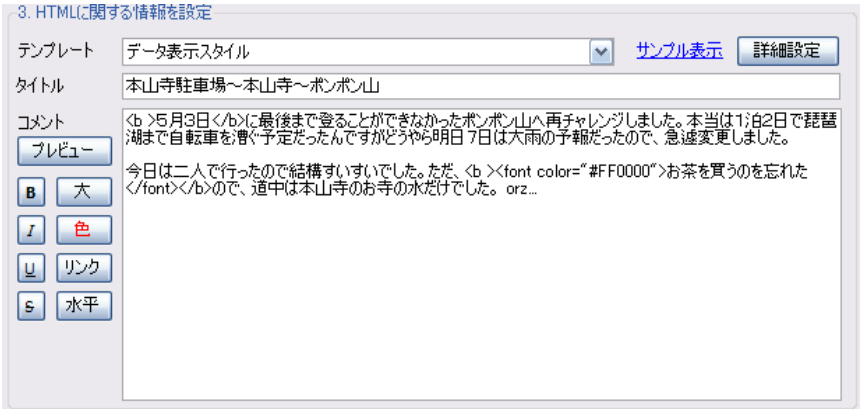
出力形式として、「HTML(Google Map 付ホームページ)出力」か「KML(Google Earth 用表示形式)を出力」かを選択します。ここでは「HTML(Google Map 付ホームページ)出力」を選択します。

6.2 Google Maps API Key を設定

アップロードするホームページ先の URL に対応する Google Maps API Key を設定します。Google Maps API Key は http://code.google.com/intl/ja/apis/maps/signup.html で URL を入力することで取得することができます。取得の手順は以下のとおりです。

1. 「利用規約を読んだ上でこれに同意します」の左側のチェックボックスをチェック
2. 使用するウェブサイトの URL: でホームページで使用する URL を入力(html ファイルではなく、html ファイルが含まれるフォルダの URL を記載してください。)
3. API キーを作成を押す。
   チェックボックスをチェックする前に"Google Maps API 利用規約"の中身を読んでください。

6.3 HTML に関する情報を設定



[テンプレート] … 3 種類のテンプレートスタイルを準備しています。3 種類のテンプレートについては

6.3.1 をご覧ください。

[タイトル] … このホームページのタイトルを記載します。

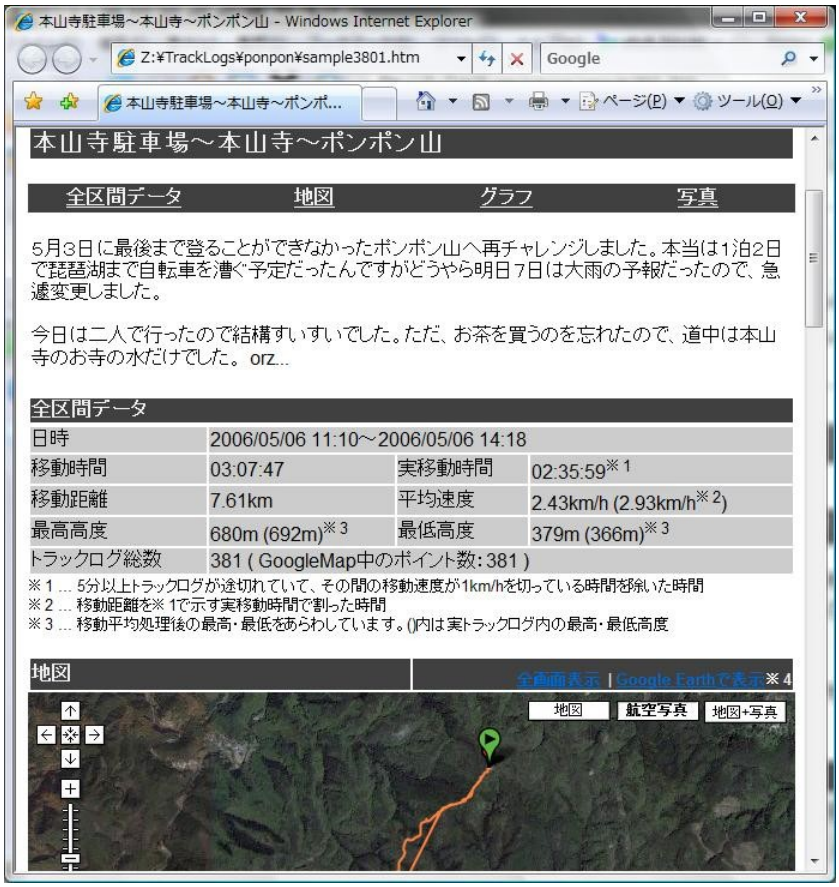
[コメント] … この欄で、作成するホームページに関するコメントを入れることができます。入力したコメントの一部を選択状態にして、左側の文字修飾ボタンを押すことで、さまざまな文字修飾をいれることができます。

[詳細設定] … HTML 作成に関する詳細な設定を行うことができます。

6.3.1 テンプレート一覧

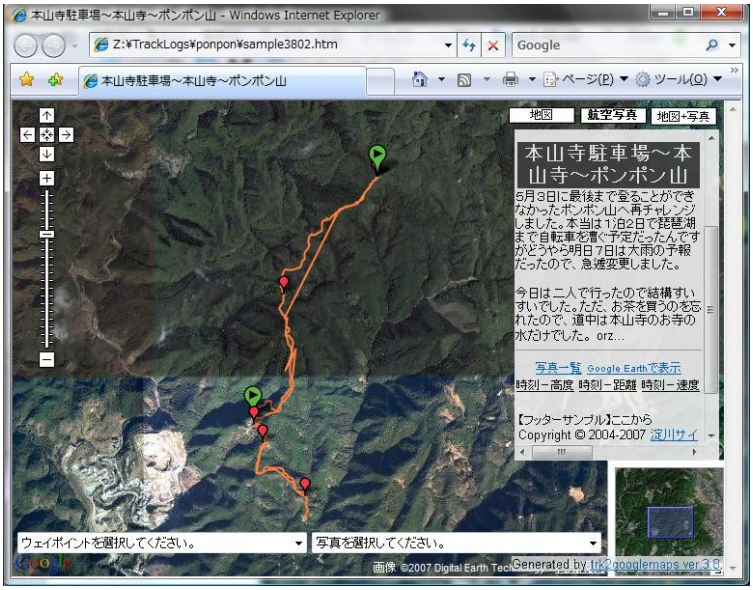
・データ表示スタイル：各種データやグラフを主体に表示します。

【 サンプル】



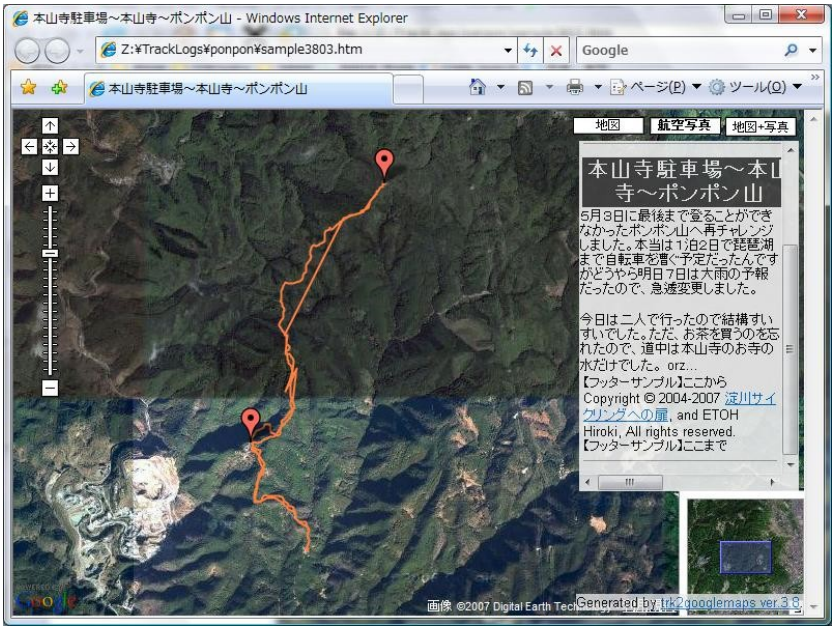
・全画面表示スタイル：ブラウザいっぱいに地図を表示するスタイルです。各種グラフや写真は右側のメニューから表示していきます。

【 サンプル】



・**シンプルスタイル**：ブラウザいっぱいに地図を表示するスタイルです。Google Earth との連携や関連写真の表示、グラフなどはなく、純粋にトラックログとウェイポイントだけに限定しています。

【 サンプル】

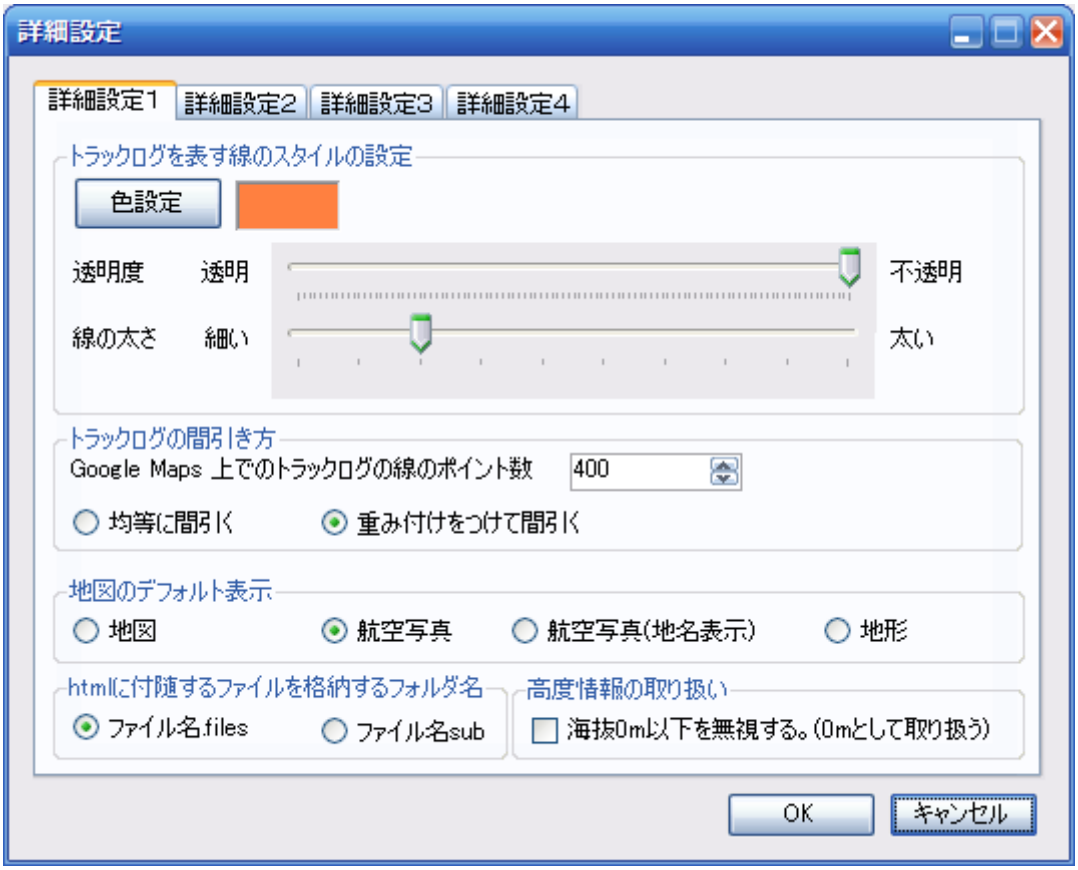


サンプルをクリックすると、それぞれのテンプレートスタイルのサンプルがブラウザで表示されます。

6.3.2 詳細設定

詳細設定を押すと、HTML 作成に関する詳細な設定を行うことができます。

6.3.2.1　詳細設定 1



- **線のスタイルの設定**

「色設定」 … トラックログを表示する線の色を設定します。

「透明度」 … トラックログを表示する線の透明度を設定します。左端に設定すると、不透明になります。

- **トラックログの間引き方**

「Google Maps 上でのトラックログの線のポイント数」 … Google Maps 上に表示する線を構成するポイントの数を設定します。あまり大きい数に設定すると、表示できないことがあります。

「均等に間引く」 … トラックログのポイントから均等に間引きます。

「重み付けをつけて間引く」 … 静止状態のポイントを除外したり、直線的な移動の中間点を間引くなど除外しても影響の少ないポイントを一定のルールに基づいて間引いていきます。

- **地図のデフォルト表示**

ホームページを表示したとき、どの表示方法で最初に表示するかを設定します。

「地図」 … 地図をデフォルトで表示します。

「航空写真」... 航空写真をデフォルトで表示します。

「航空写真(地名表示)」 … 地図と航空写真を組み合わせてデフォルトで表示します。

「地形」... 地形をデフォルトで表示します。

- **Html に付随するファイルを格納するサブフォルダ名**

html に付随するファイルを格納しているフォルダ名の命名方法を設定します。

「ファイル名.files」 … html ファイルを Explorer 上で削除したり、移動したりすると一緒に移動することができるフォルダ名になります。

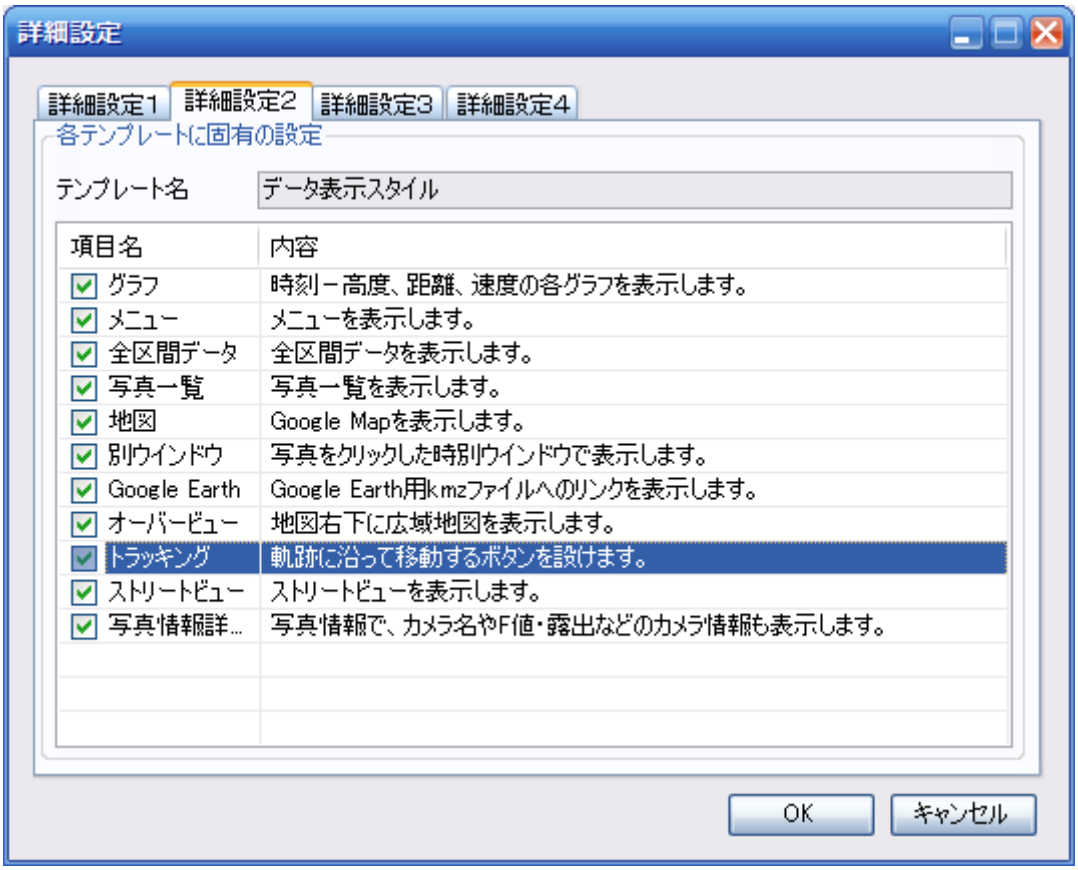
「ファイル名 sub」 … geocities など一部のレンタルサーバでは、フォルダ名に「.」(ドット)を入れることが許されていないため、そのようなレンタルサーバなどをお使いの場合はこちらを選択してください。

- **高度情報の取り扱い**

海抜 0m 以下を無視する。(0m として取り扱う)

電源投入直後などで GPS の測位誤差が大きく、あまりありえない海抜 0m 以下を示している場合にこれを 0m として取り扱います。

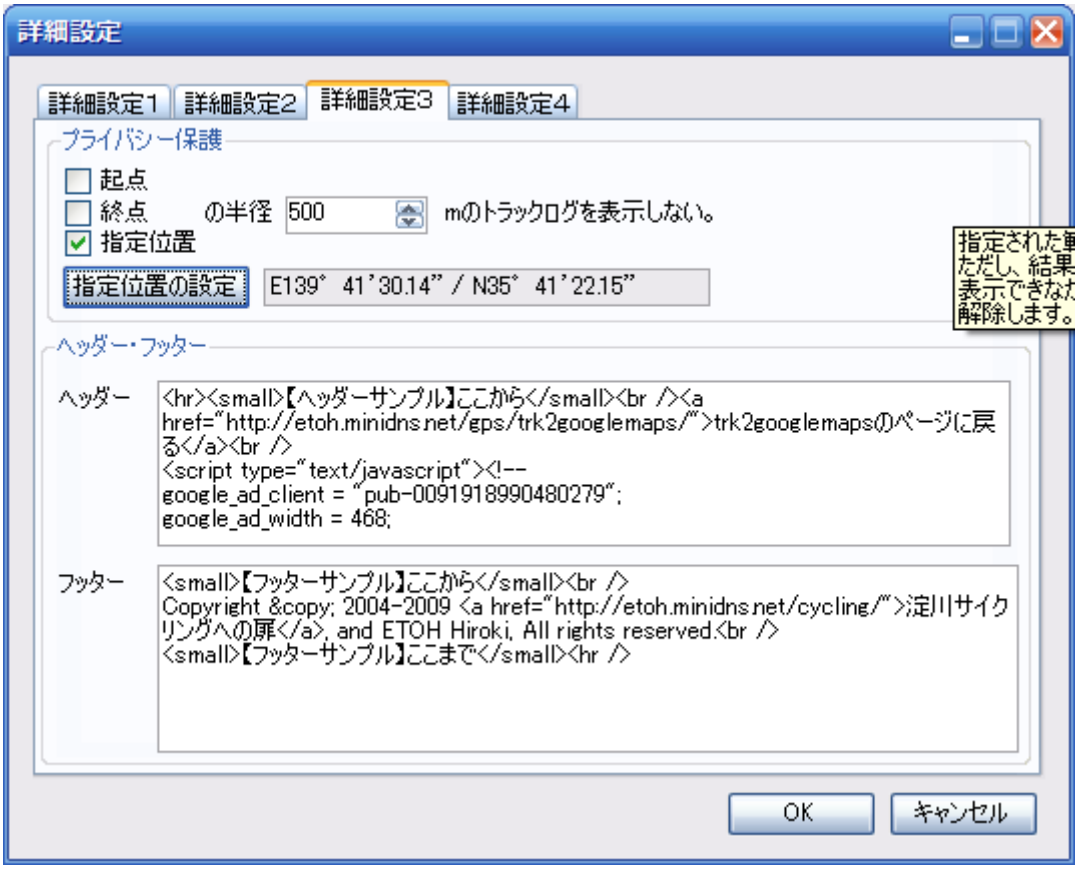
6.3.2.2 詳細設定 2



- **各テンプレートに固有の設定**

各テンプレートに固有の設定をチェックボックス形式で行います。主に、ホームページ上で特定の項目を表示するかどうかを選択するのに使用します。

6.3.2.3　詳細設定３



- **プライバシー保護**

[起点の半径 xxx m のトラックログを表示しない。] … トラックログの起点の指定された半径のトラックログを表示しません。

[終点の半径 xxx m のトラックログを表示しない。] … トラックログの終点の指定された半径のトラックログを表示しません。

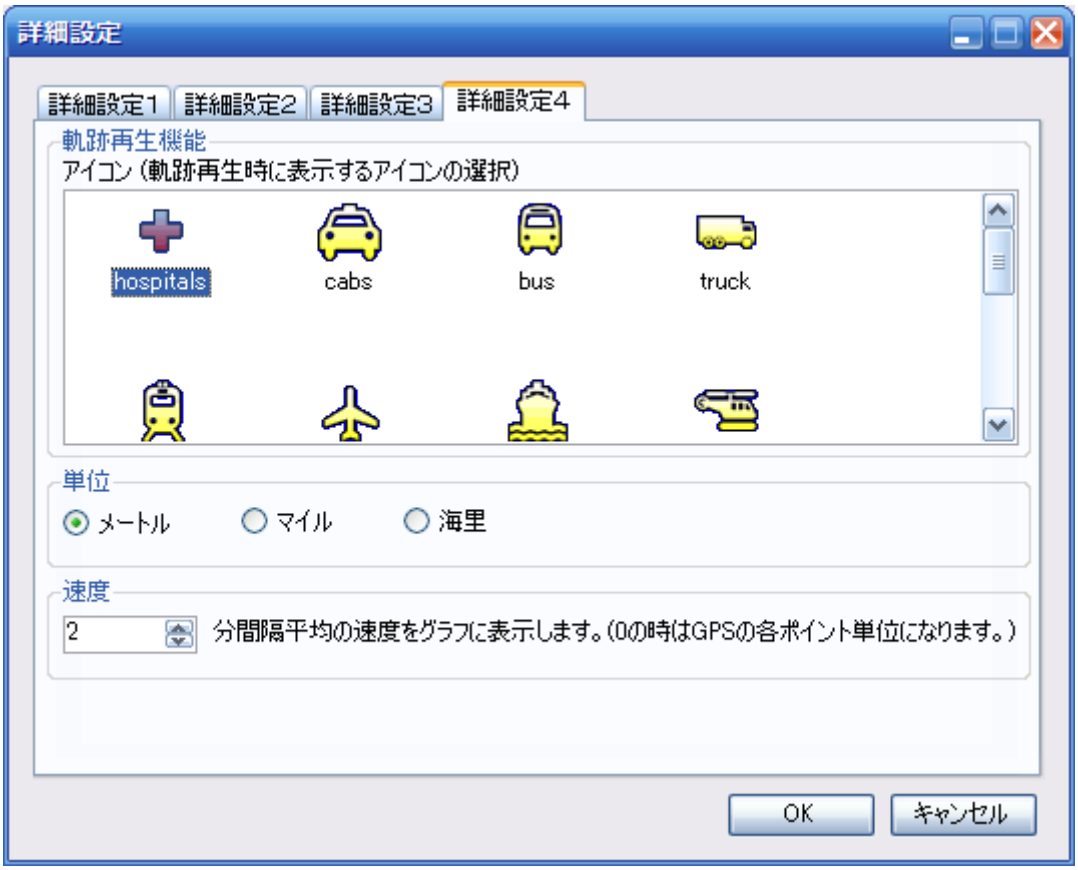
[指定位置の半径 xxx m のトラックログを表示しない。] … 指定位置の指定された半径のトラックログを表示しません。

ただし、移動半径が狭く、プライバシー保護の結果２ポイント未満しかトラックログがない場合は、この指定を解除します。

- **ヘッダー・フッター**

HTML 出力時に常につけておくヘッダーやフッターを記入します。

6.3.2.4　詳細設定４



- **軌跡再生機能**

軌跡を再生する際に表示するアイコンを選択します。

- **単位**

メートル法・マイル法・海里の３種類から選べます。

メートル法の場合は距離が"km", 速度が"km/h"表記になります。

マイル法の場合は距離が"mile", 速度が"mps"表記になります。

海里の場合は距離が"nmile", 速度が"knot"表記になります。

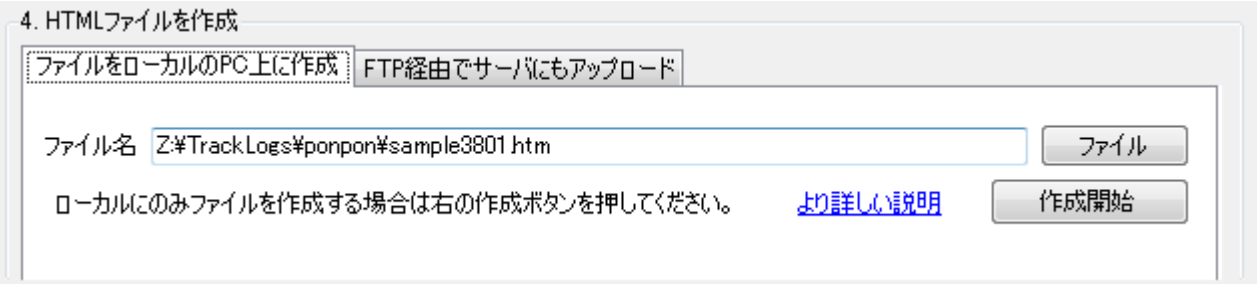
- **速度**

平均速度の算出間隔を１分から１０分の間で指定します。０分にした場合はトラックログのポイント間で算出します。

6.4　HTML ファイルを作成

本章では、HTML ファイルの作成の仕方を記述しています。

6.4.1 ファイルをローカルの PC 上に作成



出力する HTML ファイル名を設定します。HTML に付属のファイルがある場合は、サブフォルダ「ファイル名.files」ないしは「ファイル名 sub」をあわせて生成します。 （どちらのパターンでサブフォルダを作成するかについては、 6.3.2.1 をごらんの上、詳細設定で設定してください。）

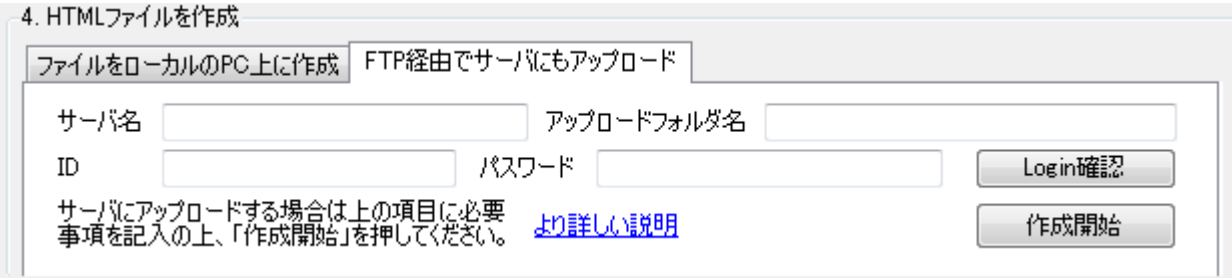
例：

ファイル名　　c:\html\gps.htm

であれば、「c:\html\gps.htm」と「c:\html\gps.files*.*」に必要なファイルを作成します。

HTML ファイルは 6.2 の Google Maps API Key で指定した URL に FTP ツール等を使ってアップロードしてください。シンプルスタイル以外の html ファイルは *.html ファイルと*.files ディレクトリの 2 つから構成されています。*.files がなければ、画像等が html ファイルに表示されませんので、ご注意ください。

6.4.2 FTP 経由でサーバにもアップロード



「作成開始」を押すと、アップロード前にまずローカルの PC 上にも HTML ファイルを作成します。ファイル名は「ファイルをローカルの PC 上に作成」 のファイル名のタブで指定したフォルダ・ファイル名のところにファイルを生成し、生成したファイルを FTP サーバへアップロードします。

[サーバ名] … HTML ファイルをアップロードしたいサーバ名を記入します。 (ex. ftp.hogehoge.ne.jp)

[アップロードフォルダ名] … HTML ファイルをアップロードするフォルダ名を記入します。 該当フォルダがなければ、自動で生成します。(ex. /html/googlemap)

[ID] … FTP へアクセスするための ID を記入します。

[パスワード] … FTP へアクセスするためのパスワードを記入します。

例：

「ファイルをローカルの PC 上に作成」タブ

ファイル名　　c:\html\gps.htm

「FTP 経由でサーバにもアップロード」タブ

サーバ　　ftp.hogehoge.ne.jp

フォルダ名　　/html/googlemap

であれば、

ftp.hogehoge.ne.jp/html/googlemap/gps.htm と ftp.hogehoge.ne.jp/html/googlemap/gps.files/*.*

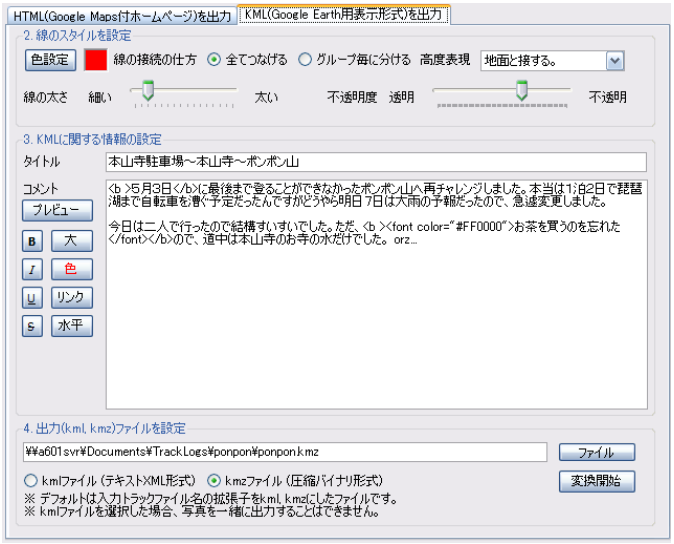
に必要なファイルをアップロードします。

6.4.3 HTML ファイル作成後の動作

メニューバーの「ツール」－「HTML ファイル作成後の動作」で「該当フォルダを Explorer で開く」にチェックしていれば、作成終了後、該当フォルダを Explorer で開きます。上記例でいくと、「c:\html」フォルダ を開きます。

メニューバーの「ツール」－「HTML ファイル作成後の動作」で「ブラウザで結果を表示する。」に チェックしていれば、作成終了後、HTML ファイルを標準ウェブブラウザ(通常は Internet Explorer)で開きます。

7　KML(Google Earth 用表示形式)を出力



Google Earth や google マイマップなどで使用できる KML 形式で出力を行います。

7.1　線のスタイルを設定

線のスタイルを設定します。

[色設定] … 線の色を設定します。

[線の接続の仕方] … 線の接続の仕方を設定します。「線を全てつなげる。」を選ぶと、トンネルや電源ＯＦＦなどでログが取れなかった箇所も直線で接続します。「グループごとに線を分ける」を選ぶと、ログが取れなかった区間の線はつながず、別々の線で表現します。

[線の太さ] … 線の太さを 1 ピクセルから 16 ピクセルの間で設定します。

[不透明度] … 線の不透明度を設定します。左に移動させるにしたがって透明になっていきます。一番左端では完全に透明なので線は見えないことになります。

[高度表現] ...高度をどのように表現するかを設定します。「高度によらず線を地面に接する」を選択すると、線は、地面に接します。「高度に応じて線を地面から浮かせる」を選択すると、線は高度に応じて、浮きます。飛行機のログなどでは顕著に線が浮きます。

7.2　KML に関する情報の設定

[タイトル] … KML ファイルが Google Earth に表示されたときにつけるタイトルを設定します。

[コメント] … KML ファイルが Google Earth に表示されたときにつけるコメントを設定します。入力したコメントの一部を選択状態にして、左側の文字修飾ボタンを押すことで、さまざまな文字修飾をいれることができます。

7.3 出力ファイルを設定

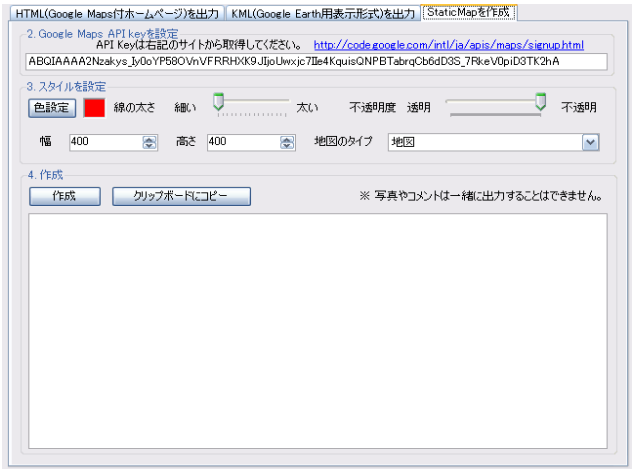
7.3.1 各項目について

[ファイル] … 出力ファイルをファイルダイアログを用いて設定します。
[kml(テキスト XML 形式)] … XML で記述されたテキスト形式のファイルを出力します。 この形式の場合写真などを設定しても無視されます。
[kmz(圧縮バイナリ形式)] … kml ファイルや関連する写真データをひとつのファイルにパックし圧縮した形式です。
[変換開始] … kml(kmz)ファイルが作成されます。

7.3.2 ファイル作成後

「ツール」－「オプション」の「変換後、GoogleEarth を起動し、本アプリを終了する」にチェックが入っていれば、作成された kmlkmz)ファイルを Google Earth 上で表示して、アプリケーションが終了します。

8　Google Static Map APIを用いた<img>タグ出力



多くのブログなどで表示可能な<img>タグでトラックログとウェイポイントを表示するための形式です。

8.1　Google Maps APIキーの設定

6.2Google Maps API Keyを設定に記載の内容と同じですので、こちらをご覧ください。

8.2　スタイルを設定

線のスタイルや地図の大きさ・形式などを設定します。

[色設定] … 線の色を設定します。
[線の太さ] … 線の太さを1ピクセルから16ピクセルの間で設定します。
[不透明度] … 線の不透明度を設定します。左に移動させるにしたがって透明になっていきます。一番左端では完全に透明なので線は見えないことになります。
[幅][高さ] … 地図イメージの幅と高さを設定します。　最大640pixelまで設定できます。
[地図のタイプ] … 地図・モバイル・航空写真・航空写真＋地図・地形の5種類から選択できます。モバイルはモバイル機器でみやすいように加工された地図です。

8.3　作成

「作成」ボタンを押すと、設定されたトラックログやウェイポイントにしたがって作成を行います。どちらも設定されていなければエラー終了します。作成後の結果は情報ビューに表示されます。作成が成功すると下側に<img>タグのテキストが表示されます。「クリップボードにコピー」を行うとテキストボックスエリアの文字列がコピーされるので、普段お使いのブログを書くためウェブページの入力領域にペーストすればイメージとして表示されます。

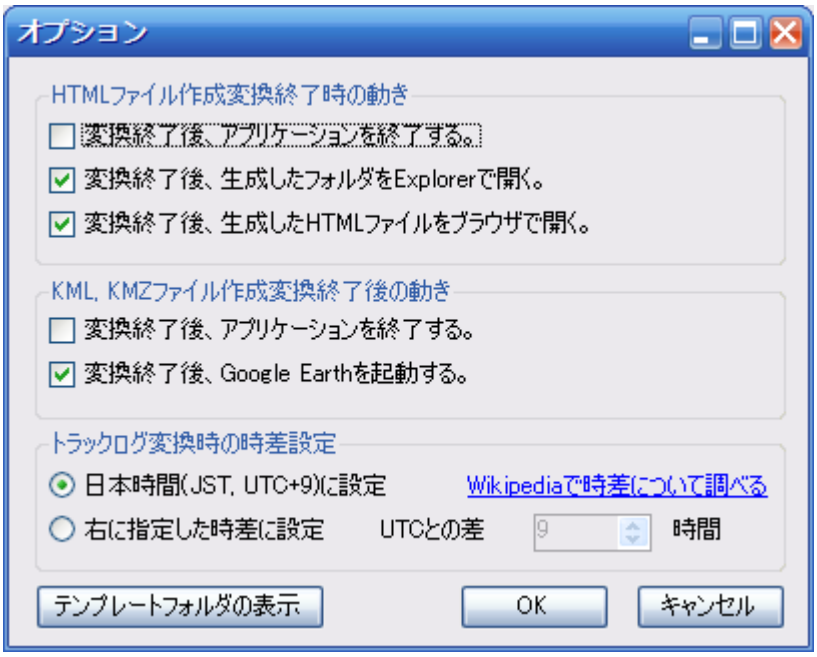
9 メニュー

「ファイル」－「設定情報を開く」 … HTML, KML を作成するために設定した入力ファイルや各種設定情報を復元するための設定情報ファイルを開きます。拡張子は t2g になります。

「ファイル」－「設定情報を保存する」 … HTML, KML を作成するために設定した入力ファイルや各種設定情報を復元するための設定情報ファイルを保存します。拡張子は t2g になります。

「ファイル」－「終了」 … 本アプリケーションを終了します。

「ツール」－「オプション」... HTML/KML 共通の項目を設定します。



- **HTML ファイル変換終了時の動き**

HTML ファイル作成後、生成したファイルのフォルダを開いたり、アプリケーションを終了するかどうかなどを設定します。

- **KML/KMZ ファイル作成変換終了後の動き**

HTML ファイル作成後、生成したファイルのフォルダを開いたり、アプリケーションを終了するかどうかなどを設定します。

- **トラックログ変換時の時差設定**

GPS データは基本的に UTC(グリニッジ標準時)で記録されています。デフォルトは JST(日本標準時)となるようにしていますが、海外でお使いの場合など現地時間に設定したい場合は、ここを設定します。

- **テンプレートフォルダの表示**

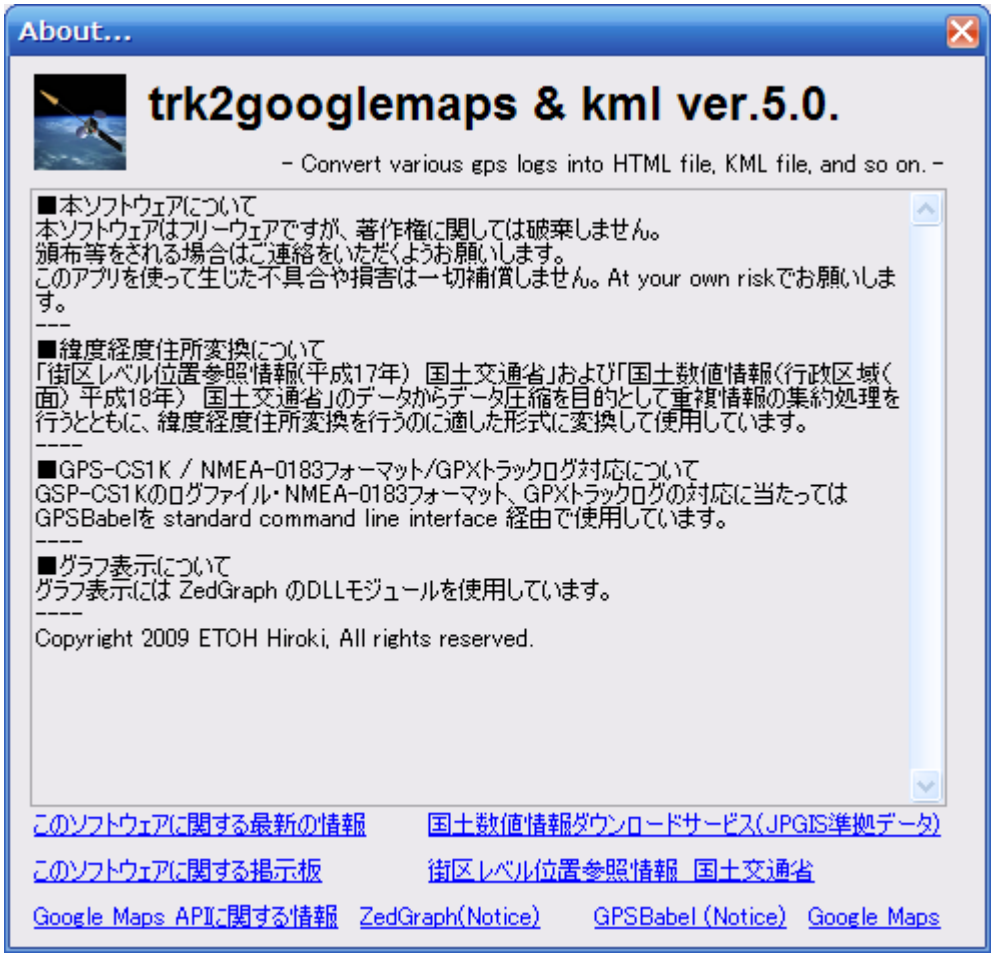
本 アプリで使用しているテンプレートを表示します。 C#の print format に準拠しています。ちょっとした変

更程度でしたら、テキストを書き換えるだけで、変更は可能です。変更を間違えるとアプリケーションが動作し なくなりますので、動作しなくなった場合は、アプリケーションをアンインストールして、再インストールしてください。

「ヘルプ」－「ヘルプ」 … 本取扱説明書を開きます。

「ヘルプ」－「ホームページ」 … 本アプリケーションに関する最新の情報や関連した情報が記載されているホームページを開きます。

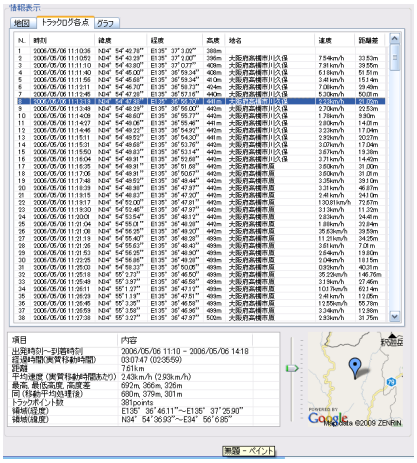
「ヘルプ」－「trk2googlemaps について」 … 本アプリケーションについての著作権情報や注意事項等を表示します。



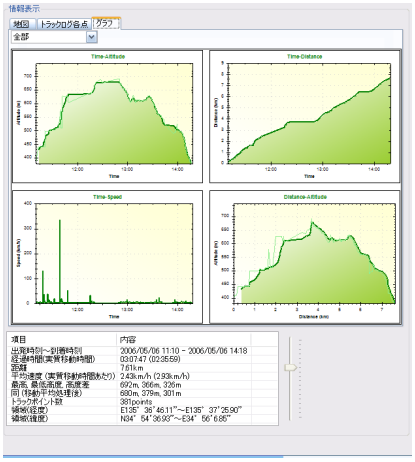
10 情報表示

各種情報表示をすることができます。

地図表示タブ



トラックログ各点表示タブ



グラフ表示タブ

写真表示タブ

情報表示ウインドウタブ一覧

11 その他

11.1 ステータスバー

- **「Help」...** 本ドキュメントが表示されます。
- **「trk2googlemaps ver.x.yy」 …** 本アプリを公開している URL へジャンプします。

11.2 制限

・DATUM が WGS84 以外の場合はサポートしていません。

・PCX5 形式において、緯度・経度に倍率等が設定しているようなものには対応していません。

・非常に大きなトラックログのときの動作は不明です。

・その他異常系処理に弱いです。

12 最後に

12.1 免責

・このアプリはフリーウェアですが、著作権は破棄しません。

・このアプリを使って生じた不具合や損害は一切補償しません。At your own risk でお願いします。

・ご要望等ありましたら、お聞きしますが、実行するとは限りません。

12.2 履歴

●2009/02/15 Ver.5.0.105

・情報表示ウインドウで各種情報が表示できるようにした。

・Gpolyline.FromEncoded()を使ってトラックログを表示するようにした。これによりデフォルトを 400 ポイントから 2000 ポイントに変更。10000 ポイント程度までなら、なんとか表示ができるようにした。

・Holux M-241 の trl 形式に対応

・インストーラを ClickOnce から Windows Installer(.msi)形式に変更

・重み付けのアルゴリズムを改良。

・取扱説明書を整備。PukiWiki ベースから Open Office.org 3.0 形式に変更。

●2008/11/22 Ver.4.64.103(α9 版)

・重み付けのアルゴリズムを改良。

・グラフの表示を一部変更

●2008/10/27 Ver.4.64.102(α8 版)

・一部 gpx で正しく表示できない問題の修正。(修正漏れ)

●2008/10/26 Ver.4.64.101(α7 版)

・一部 gpx で正しく表示できない問題の修正。

●2008/10/13 Ver.4.64.100(α6 版)

・全画面表示の情報表示ウインドウを補正。

・重み付けのアルゴリズムを改良。

・重み付けか均等割りか選択できる設定を追加。

・写真情報の簡易表示(F 値・露出・メーカ名・モデル名非表示)を追加

●2008/10/05 Ver.4.63.99(α5 版)

・全画面表示の情報表示ウインドウを補正。

・距離－高度グラフを追加。

●2008/10/02 Ver.4.62.98(α4 版)

・stdole が原因でインストールできない場合がある問題の修正。

●2008/10/01 Ver.4.62.97(α3 版)

・**ストリートビューに対応**

・不正な日付フォーマットの Exif ファイルを入力した場合、場所の推定でアプリケーションエラーが発生する問題の修正

・場所を修正ダイアログのダイアログタイトル変更

・場所を修正ダイアログで緯度・経度・高度が写真等から引き継がれない場合がある問題の修正

・非 Exif ファイルを入力した場合、HTML ファイル作成時にアプリケーションエラーが発生する問題の修正

・高度が-1000m 以下の場合、0m に補正。

●2008/09/23 Ver.4.61.96(α2 版)

・場所を修正ダイアログで南緯・西経が正しい値にならない問題の修正

・場所を修正ダイアログで GoogleEarth 使って場所指定できる機能を削除

・場所を修正ダイアログで GoogleMaps 使って場所指定できる機能を追加

・写真登録時に Exif がない場合、日時情報を空白からファイルの更新日時を使用するように変更

・場所を修正ダイアログで高度値が無効値の場合、AP 断する問題の修正

・写真の追加ダイアログで ListView に撮影日時欄を追加

●2008/09/17 Ver.4.60.94(α 版)

・写真の追加-コメントなどの編集の UI 最大化時の問題の修正

・場所を修正ダイアログで南緯・西経が正しい値にならない問題の修正

・場所を修正ダイアログで GoogleEarth 使って場所指定できる機能の追加

・写真の追加-コメントなどの編集ダイアログとウェイポイントの編集ダイアログで地図表示機能の追加

・Visual Studio 2008 (C# 3.0 / .NET 2.0)にコンパイラを変更。

●2008/05/12 Ver.4.51.90

・2 点間の距離が非常に近傍の場合に距離差計算でエラーになっていた問題の修正

・(上記のため、正しくトラックログが表示されない等の不具合がありました。)

●2008/05/10 Ver.4.51.89

・kml ファイルの visibility タグのスペル間違いの修正

・Ver.4.20.66 でコメントアウトした google maps のマイマップとの連携機能の復活

●2008/05/03 Ver.4.51.88

・写真詳細設定ダイアログと、ウェイポイント設定ダイアログで設定地点の地図を static google maps で表示できるようにした。

・設定した位置情報の設定解除ができるようにした。

・写真と GPS の時間差の設定が機能していない場合があった問題の修正。

・kml, kmz 出力時にエラーダイアログが間違って表示される場合があった問題の修正。

・gpx でウェイポイントを設定した場合に、地名が表示されない場合があった問題の修正。

●2008/05/01 Ver.4.50.87

・海里を設定したときに時刻－速度グラフの縦軸ラベルが Distance になっていた不具合の修正。

・海里、マイルを設定したときのグラフの最大値が 1.6～1.8 倍大きくなっていた不具合の修正。

・詳細設定で、線の色を変えて、再度設定画面を開いたとき、表示が赤に戻ってしまう不具合の修正。

・プライバシー保護の起点終点設定をすると、Google Maps で地図や軌跡がうまく表示されなくなってしまう不具合の修正。

●2008/04/29 Ver.4.50.86

・プライバシー設定が効かない場合があった問題の修正

●2008/04/28 Ver.4.50.85

・ウェイポイントの表示に緯度・経度・住所が表示されない場合があった問題の修正

●2008/04/27 Ver.4.50.84

・取り説を整備して正式公開

- 2008/04/27 Ver.4.50.83(α3[暫定公開])
  ・写真が設定されていない場合に生成できない場合があった問題の修正
- 2008/04/26 Ver.4.50.82(α2[暫定公開])
  ・実移動時間・実移動速度が不正確な場合があった問題の修正
  ・平均速度の算出間隔を 0～10 分の間で変更できるようにした。
  ・最後に使ったファイルのメニューのツールチップ付与。異常系処理の強化
  ・位置情報が付与されていない写真が混ざった状態で出力しようとすると、トラックログからの位置情報の推定を促すダイアログの表示。
- 2008/03/09 Ver.4.50.73(α[暫定公開])
  ・再生、停止ボタンをつけるようにした。
  ・距離・速度の単位を メートル・マイル・海里の 3 種類から選べるようにした。
  ・地形を選べるようにした。
  ・javascript 部分を.js ファイルに分離して html を簡素化＆生成サイズを縮小するようにした。
  ・写真の緯度経度欄にマウスカーソルを合わせると地図を表示するようにした。
  ・最後に使ったファイルをメニューのファイルの下に追加するようにした。
  ・写真のメーカ名・モデル名・位置情報に対してリンクを張るようにした。
  ・Visual Studio 2008 Express Edition にコンパイラを変更
  ※取扱説明書が追い付いていません。テストケースにまだ抜けがあります。
- 2007/12/03 Ver.4.20.69
  ・例外系パターンのエラー表示の充実
  ・シンプルスタイル周りの仕様変更
  ・ドラッグ＆ドロップで写真登録時にリストに表示されない問題の修正。
- 2007/11/27 Ver.4.20.66

・プライバシー設定が東経の際に西経のトラックログが表示されない問題の修正

・写真だけの場合に kml 出力しようとして、エラー表示できていない問題の修正

・Undefined 以外の Exif UserComment が正しく処理できていない問題の修正

・google maps の kmz 表示の仕様変更に伴い google maps のマイマップとの連携機能の削除

- 2007/10/27 Ver.4.20.65

・トラックログのパターンによって正しく間引かれないケースがあった問題の修正

・プライバシー保護機能が働かないケースの修正

・詳細パネルの GUI の一部修正

・出力パネルの GUI の一部修正

- 2007/10/25 Ver.4.20.64

・トラックログのパターンによって正しく間引かれないケースがあった問題の修正

- 2007/10/24 Ver.4.20.63

・トラックログの各ポイントに重み付けを行い、間引きのアルゴリズムを単純間引きからポイントの重要度に基づく間引きアルゴリズムに変更。

- 2007/09/15 Ver.4.10.61

・サムネイルサイズが再起動時に記憶されていなかった問題の修正。

- 2007/08/26 Ver.4.10.60

・サムネイルサイズを 128x96 に加えて 256x192 を選べるようにした。

・作成した HP を web 上にアップすると google maps に kmz ファイルを渡せるようにして、google maps のマイマップと連携が取れるようにした。（連携例）

・KML 側もプライバシー保護を有効にした。

- 2007/07/28 Ver.4.00.59

・GPX ファイルで KML が正しく生成されないケースの修正

・KML 単独作成時ファイルパスによっては Google Earth を起動できないケースの修正

- 2007/06/30 Ver.4.00.58

・GPX ファイルを保存して、再度開くと HTML 生成時に正しく動作しないケースの修正

- 2007/05/29 Ver.4.00.57

・GPX ファイルを使って場所推定をしようとすると正しく動作しないケースの修正

- 2007/05/27 Ver.4.00.56

・取扱説明書を整備し、正式公開

- 2007/05/25 Ver.4.00.52
  - trk2kml と融合
  - GPX のサポート
  - 複数のトラックログ・ウェイポイントファイルのサポート
  - 緯度・経度取得時にまるめ誤差で 1 度くるっていることがあったことの修正
  - プライバシー保護機能で開始点が機能していなかった点の修正
  - 海外で記録されたトラックログに対応するため、TimeZone を設定できるようにした。

    - メニューの構成を変更した。(メニューの一部を「ツール」－「オプション」に集約)
    - 全画面表示モードで information を表示できるようにした。
- 2007/03/21 Ver.3.80.38
    - FTP へのアップロード機能の追加
    - 指定された位置から指定された半径のログを表示しないプライバシー保護
    - 取り扱い説明書の整備
- 2007/02/25 Ver.3.70.36
    - 以下のオプション設定を HTML 作成の「詳細設定」に追加
        - 「データ表示形式」で写真をクイックしたとき別ウインドウで表示。
        - 起点、終点からしていされた半径のログを表示しないプライバシー保護機能。
        - 海抜 0m 以下のログを無視する設定
    - Exif や位置推定機能で設定した写真の位置を修正する機能の追加。
    - 写真のコメント設定画面で、時刻や写真のフォルダ位置も表示するようにした。
    - waypoint ファイルのみ設定した状態で特定の操作で AP 断することがあった不具合の修正。
- 2007/01/08 Ver.3.60.33
    - 速度計算に一部不具合があった点を修正。
- 2007/01/07 Ver.3.60.32
    - ヘッダー・フッターがつけれるようにした。
    - 特定の条件下で正しく html が生成できないケースがあった件の修正(2 件)
    - インストーラ仕様を一部変更
    - ClickOnce 証明書を VS2005 テンポラリから自己証明書へ変更。
- 2006/12/23 Ver.3.50.29
    - トラックログの設定を必須とせず、ウェイポイント単独・写真単独などでも設定可能とした。
    - トラックポイントがない場合用にテンプレートを変更
    - Google Earth 表示用 kmz ファイルに写真サムネイルが表示されるように変更。
    - GPS-CS1K(GPS Image Tracker)のトラックログファイルへの対応
    - その他 NEMA-0183 形式のトラックログファイルへの対応
    - TOKYO 測地系の GPS タグを持った Exif 情報付与写真への対応
    - 入力ファイルドロップ空間(なんでもドロップボックス^_^;;)の設置。
    - ポイント数を 10000 まで設定できるようにした
- 2006/11/26 Ver.3.10.27
    - 緯度経度住所変換で街区レベル位置参照情報が対応していないところに対して、国土数値情報（行政区域(面)）の代表点を使ってカバー。
- 2006/11/09 Ver.3.00.24
    - 一部の JPEG ファイルで正しくデコードできなかった問題の修正。
- 2006/11/05 Ver.3.00.23
    - 緯度経度住所変換モジュールを組み込んだ。

    - テンプレートに対してオプションを設けて柔軟な HTML 作成を可能とした。
    - 写真のサイズを選べるようにした。
    - 撮影場所の推定機能を盛り込んだ。
    - 画面構成を一部変更した。
- 2006/08/19 Ver.2.50.21
    - 写真が設定されていないと一部のテンプレートで HTML ファイルが生成されないバグを修正
- 2006/08/05 Ver.2.50.20
    - ウェイポイントに写真やコメントを突っ込めるようにした。
    - Exif 情報のタイトルを写真のタイトルに入れれるようにした。
    - 写真のタイトルやコメントを自由に編集できるようにした。
    - テンプレートフォルダを開くメニューをつけた。
    - 「マップ」「サテライト」「ハイブリッド」の初期状態を選択可能にした。
    - デフォルトの画面をワークエリアに収まるようにした。(600 ライン対応)
    - トラック情報の内容の簡易確認ができるようにした。
    - 上記にあわせてテンプレートを一部手直しした。(基本的には変わりません。)
    - 経度が 2 桁のときに地図が表示されないケースの修正
    - その他もろもろ。
- 2006/05/14 Ver.2.40.17
    - [テンプレート修正] Waypoint と写真でアイコン形状を変更。全画面表示時のコメント欄が長いとき画面からはみ出てしまう件を修正
- 2006/05/04 Ver.2.40.13
    - 3 種類の HTML テンプレートを準備。設定情報の保存、復元を追加。Google Maps API v2 への対応。コードリファクタリング。メニュー、ステータス GUI の追加。時刻 – 速度グラフが実際よりもやや低く表示される問題の修正。Wiki ベースの HTML ヘルプへ変更。
- 2006/05/08 Ver.2.40.15
    - [テンプレート修正] 初期 Zoom レベルを Google Maps API v2 を使った形式に変更。
- 2006/04/02 Ver.2.30.07
    - 写真登録周りと HTML テンプレートを一部修正。
- 2006/04/01 Ver.2.30.06
    - 全画面表示追加・Google Earth kmz ファイル出力追加・その他もろもろ
- 2006/03/31 Ver.2.20.05
    - Exif GPS タグと地図の連携。時刻 – 速度グラフの追加。グラフ表示の整理。Exif のユーザコメントの複数行対応・その他もろもろ
- 2006/03/26 Ver.2.10.03
    - Exif GPS タグを解析し地図に反映・初期 Zoom レベルの調整・その他もろもろ
- 2006/03/19 Ver.2.00.01
    - 全体状況表示・時刻 – 距離・時刻 – 高度グラフ生成・関連写真の表示・Exif Orientation への対応・そ

の他もろもろ

- 2006/02/22 Ver.1.00.01
  - 取り説等整備して公開
- 2006/02/15 Ver.0.10.00
  - 初公開

12.3ご紹介いただいた雑誌等(2009/2 現在)

以下の書籍にてご紹介いただきました。

・**週刊アスキー 2 月 10 日号(2009 年) ウィンドウズ Vista にもっと強力に効く!!フリーソフト 777 09 年版**

777 本のフリーウェアのうちの *1* 本としてご紹介いただきました。

・**Locus ウィンドウズビスタ超活用大全 (2008 年 10 月 28 日発売)**

140 本のフリーウェアのうちの *1* 本としてご紹介いただきました。

・**週刊アスキー 10 月 14 日号(2008 年) 秋の超フリーソフト祭り 1001 本**

１００１本のフリーウェアのうちの *1* 本なんで、まあ扱いは小さかったですが。。。 ・

週刊アスキー 3/11 号(2008 年)別冊 ウィンドウズ Vista に強力に効く!! フリーソフト 500

編集者から紹介してもらってる旨連絡を受けてはいるんですが、雑誌が入手できていないので詳細は不明です。

・**PC Japan 9 月号 (2007 年)**

特集 *3* 設定のカスタマイズからプラグインの活用，*GPS* や *Web* サービスとの連携まで *Google Earth* スーパー活用術

＊*Part2*　*GPS* デバイスの情報を活用する

の中で p80～82 にかけて 3 ページにわたって trk2googlemaps & kml の使い方をご紹介いただいています。

・**週刊アスキー 6/19 号 (2007 年)**

★特集 *1*

絶対手に入れたい！

週アス厳選フリーソフト *100*

の中で 100 本のうちのひとつとしてご紹介いただいています。

・**Google Earth で地球を旅するガイドブック**

p.89 に trk2kml の使い方などが載っています。

12.4 最新の情報について

GPS への扉 (http://etgps.net/gps/) … 最新のソフトはこちらからお取りください
サポート掲示板(http://etgps.bbs.fc2.com/) 問い合わせ等ありましたら当面こちらで、お伺いします。
ブログ (http://zzzzzzzzzzzzz.blog91.fc2.com/) … 開発状況などはブログを通じて逐次お知らせしていく予定です。

Copyright 2009 ETOH, Hiroki, All rights reserved.